

# Game with Perfect Equilibrium ～二律背反逆NTRゲーム～

---

## 目次

[設定](#)

[キャラ](#)

[未希](#)

[霧](#)

[未希と霧](#)

[呼び名](#)

[各章流れ](#)

[注意事項](#)

[ep0](#)

[ep1.0](#)

[ep1.5](#)

[ep2.0](#)

[ep3.0](#)

[ep4.0](#)

[epilogue](#)

[おまけ](#)

---

## 設定等々

**キャラ**

**未希ちゃん**

---

とりあえず他人の一番を奪って空いた一番に自分をねじ込むことが大好きなエゴイスティックでわがままの権化みたいな女の子でありお姫様。お姫様だけど目立つようなことと面倒なことは嫌いで如何にどこまで楽できるかに注力する。

勝つときもどれだけ楽に被害を少なく効果的に勝てるかを考える。テニス部所属。後述の彼女(霧)とは中学からの知り合いで出会った当初はその辺のモブくらいにしか思ってなく、その他人のものを奪う習性から霧の彼氏を奪っていったためそのたびに霧と大喧嘩をしていた。

しかし他の人と違って全くへこたれるどころか育成の腕をあげ略奪の難易度をあげていく霧をいつしか認識するようになった。今では彼女との一進一退の奪い合いは未希の数少ない心から楽しめる娯楽の一つである。

好きなお菓子はコンボタスナック

## 彼女役(霧ちゃん)

---

冷静沈着容姿端麗完全無欠の黒髪ロングの生徒会副会長

未希とは友人である。

先日生徒会長から告白されて付き合うことに。

逆NTRを掲げる本作においては彼女は彼氏を奪われる可哀そうな同情すべき被害者に思われるが完全にそうとは言い切れない。

彼女は未希が彼氏に手を出すことを知り、ある程度看過している。

なぜなら彼女にとって未希はライバルであり彼女自身の目的に必要な不可欠ピースであるからである。

好きなお菓子はムーンライト

男:生徒会会長 爽やかそうな青年 足と脚が好き

---

何度も申し上げますが、これは女性同士の戦いのお話ですのでこれ以上男について語ることはありません。

## 未希ちゃんと霧ちゃん

---

未希ちゃん = 「他人の一番を奪うことが大好き」の**快楽主義の放任主義の現実主義者のお姫様**

↑

きりちゃん = 「自分を一番としてくれる存在を作り上げるその過程および自分が一番でいられるという実感を抱けるのが大好き」の**禁欲主義の管理主義の完璧主義者の女王様(※)**

## 各章流れ

---

完成版:

ep.0(導入)

↓

ep.1.0(誘惑見抜きオナサポ)

↓

ep.1.5(はぐらかし言い訳パート)

↓

ep2.0(生着替え～半女装～太ももコキ)

↓

ep3.0(きりちゃん逆襲パート)

↓

ep4.0(前半:未希ちゃんとの目隠しキスゲーム～中盤:霧ちゃんに対し寝取られ報告～終盤:未希と霧のW  
罵倒手コキ射精)

↓

epilogue(未希ちゃんと霧ちゃんの関係性ネタばらし)

おまけ: きり○んぼ⇒もし霧ちゃんが勝ってたらのifパート

霧ちゃんに連れられ全裸で校内徘徊で未希の教室へ

↓

未希の体操着をおかずにさせてしこらせてぶっかけて返却

---

## 注意事項

- 青字は状況説明、登場人物の動作や感情を表現したものです。ト書きに近いものだと思ってください。
- ほとんど収録前の状態にしてあります。それゆえ本編と一致しない箇所が見受けられますがご了承ください。
- 収録時で発覚した矛盾点がこの台本に存在します。お暇でしたら探してみてください。

---

## ep0:Ready!

場所:生徒会室 霧ちゃんと男がいちゃついているところに未希ちゃん乱入し駄弁る

(隣同士で黙々と作業を続ける霧と主人公)

(霧大きく伸びをする)

霧⇒うーん...ねえ一休みしましょ？

え？まだ？

ダメ♥一休み♥

真面目な顔してる貴方も悪くないけど緩んだ顔見せてちょうだい♥

はいお茶♪

あら？飲みかけじゃ嫌だったかしら？

でしょ？だったら素直に受け取りなさい♥

それにしても次から次へと雑務ばかり...

嫌になっちゃうわね...こんなときは楽しいことでも話しましょ？

たとえば♪明日どこ行くとか♪

えーあそこは前行ったじゃない♪違うところがいいわ♥

私？くすw私に聞いちゃダメじゃない♥

私は貴方に当ててほしいの♪

(ドアの開く音)

(未希生徒会室に乱入)

未⇒やつほおー♪きりちんいる？あつきたい♪会長もいるじゃーんやつほ♪

霧⇒騒々しいのがきたわね...未希ここ生徒会室。静かに

(徐々に近づいてくる未希)

未⇒えーいいじゃんきりちんと会長君二人しかいないんだしーそれにしても二人でナニしてたのー？  
イチャイチャこらさっさとおせっくす？

霧⇒はあ...その品のない口縫い付けるわよ未希

未⇒冗談♪冗談♪んでほんとのところは？

霧⇒ほんともなに普通に雑務。生徒会をなんだと思ってるのかしら？

未⇒なーんだつまんないの

霧⇒はあ...なんで貴方を楽しませなきゃいけないのかしら？って聞いている未希？

(ニヤニヤしながら主人公に接近する未希)

未⇒ねえねえ♪会長さん♪きりちんとどこまでいったの？

(動揺する霧)

霧⇒ちょっ未希！？

未⇒手つないだー？

霧⇒みーき！

未⇒キス？

それとももっと～？きゃ～♪未希のきりちんに乱暴しちゃダメえ～♥

霧⇒未希！ストップステイ！

(未希の頭に霧のチョップが飛び、遠のく未希)

未⇒いったあ～い♪ごっめーんきりちん怒った？

霧⇒怒りたくもなるわよ！私と彼がどこまでいってようが未希に関係ないじゃない...

未⇒かわいいかわいいきりちんが会長さんに大事にされてるか保護者である未希は気になるとですよ♪

霧⇒よくもしらずに方言使わない。あと貴方は私の保護者じゃない！

未⇒えーでもきりちんのおっぱい育てたの未希じゃん？

霧⇒未希が毎日一方的に揉んできてるだけでしょ？！

未⇒最初は揉み心地とは程遠いまな板だったのによくぞここまで育ったものじゃ...

(片腕でしがみつきもう片方の手で霧の胸を揉む未希)

(体をのけぞらせ未希の手から逃れようとする霧)

霧⇒こおら未希！？勝手に人の胸揉んで泣くな！！

未⇒会長くんも未希に感謝してよね♪きりちんのおっぱいがここまでおっきくなってんの未希のおかげ  
なんだからね♪

霧⇒んもうバカお～貴方も見てないでこのバカ止めてよ！！

未⇒霧隊長！ご報告があります！会長くん興奮してそれどころじゃないみたいであります！！

霧⇒バカ会長！！

未⇒いやー会長くんがきりちんのおっぱいもみもみもせずきりちんのこと大事にしてることが分かって未希もうお腹いっぱいであります♪

霧⇒それじゃ揉むのやめなさい！！

未⇒いや♪それは別腹なので♪

霧⇒ほんとに怒るわよ...

未⇒いやーん♪きりちん怒っちゃダメ～♪でも怒ったきりちんもかわいいですな～♪

霧⇒はあ...未希あなた私たちの邪魔しにきたの？

未⇒んー♪ただの暇つぶし～♪

霧⇒ほんとに邪魔しにきてるじゃない...っていうか未希部活は？

未⇒いや～それがですね～未希ちゃんが行くと万事解決全国大会優勝グランドスラムなので行かないのでした～♪めでたしめでたしい～♪

霧⇒どこがめでたしなのよ...

未⇒つまり強すぎる力は罪なのですよ♪

霧⇒はいはいわかったからその強すぎる力見せて全国大会優勝でもなんでもしてきなさいよじゃないと部費減らすわよ

未⇒霧様あ～それだけのご勘弁を～って未希、部長とかじゃないからノーダメなんだけどね～♪

霧⇒だから減らされた理由が未希っていう噂を流す

未⇒あーそれはめんどいですなー...

さっすがきりちん♪未希のことわかってるー♪

霧⇒分かるわよ何年付き合ってると思ってるの？最近あなたが宿題他人にやらせてるのもわかってるわよ？

未⇒きりちんも宿題君使う？

霧⇒つ、か、わ、な、い！大体あなたそんなの使わなくて余裕でしょ？

未⇒宿題面倒じゃん？それに下民に仕事を与えるのが王の務めなのですよ♪

霧⇒それじゃ副会長権限でこの部屋の掃除でも頼もうかしら？

(未希主人公の首にしがみつく)

未⇒会長さぁん♥副会長がいじめるんですけどお～職権濫用ですよ～♪職権濫用～♪

(未希を主人公から引きはがそうとする霧)

霧⇒こらどさくさに紛れて私の彼氏にくっつくなバカ

未⇒こんなカッコよくてできる彼氏ゲットするなんて～きりちんも隅に置けませんなあ～♪

霧⇒隅に置いといてくれないかしら

未⇒どうしよっかにゃ～♪

未⇒きりちんも会長もかわいいからなあ～♪ん～♪すりすりい～♪

霧⇒そろそろトイレ掃除も足すわよ

未⇒へいへい♪帰りますよーだ♪

(未希、扉の前まで移動)

未⇒それじゃきりちん、会長くん♪まったね〜♪ちゅっ♥

霧⇒ふう...まったく相変わらず騒々しいんだから休憩してたのに余計疲れた気がするわ...そうそう。

ただ話してる分にはすごくおもしろい子なんだけどね

でもねえ...彼女悪い癖があるのよ...ん？さぼり癖？

はぁ...それだけだったらどれほど平和なことか...

とにかく彼女に気をつけてね

何かあったら私に言うこと。

分かった？

くすっ♥

貴方には私がいるってこと忘れちゃダメよ♥

---

## ep1.0. Resist Temptation

---

流れ

霧の不在を狙って未希生徒会室侵入

↓

主人公に色々霧に関する質問しながら誘惑

↓

彼女ではないのでということで見抜きオナサボ

↓

フィニッシュ

---

(机に向かい黙々と作業する主人公)

(ドア開く音)

未⇒きりちん遊びにきたよ〜♪ってありゃ？会長さん一人？やっほー♪手振り返してくれたーかわいい♪

(平然と生徒会室に入り主人公に近づく未希)

きりちんいないのー？

(そわそわウキウキした様子で主人公に話す未希)

そっかー用事かー

相変わらずお忙しいですなー♪

じゃあしょうがないよねー♪

ねえ？会長君♪

いまひまー？

未希はひまー♪

ちょーたいくつ♪

だから未希の相手してくれなーい？

ねえ♥いいでしょー？

えーなんでー！

作業中？

そんなのあとにしようよー♪

ねえ？いいでしょー？

んーきりちん？

あー確かに♪

こんなとこ見られたら勘違いされちゃうかもねー♪

うんうん♥きりちんに嫌われたくないよねー♪

そっかー♪きりちんのこと好きなんだ♪

どれくらい？

校内で一番？

世界で一番？

そっかー♪

いやー妬かせてくれますなー♪

こんな彼氏がいてきりちんいいなー♪

でもだったら余計に未希と話してても大丈夫だと思うなー♪

君がそれだけきりちんのことを好きってことがきりちんに伝わってるなら未希と話しててもきりちんは君のこと信じてくれるよ♪

未希には分かるよ♪

分かるさー♪

未希ときりちん友達だからねー♪

お互い通じ合ってるのですよ♪

もしかしたら君よりも♪

ってこれはさすがにいいすぎかな？

ていうか、きりちんにこれ言ったらすっごい嫌な顔されそう...

とにかく♪

きりちんが他の女の子と少しお話するくらいで怒るような女の子じゃないってそれは君だって分かるでしょ？

それとももしかして未希とお話したくない？

未希のこと嫌い？

どっか行けて思ってる？

それだったら諦めるしかないなー

でもー♥未希は君のこと嫌いじゃないよ♥

だからちょっとだけ気晴らしに未希のお相手してくれない？

いいでしょー♥会長君♥

やったー♪

優しい会長君未希だーい好き♥

じゃあじゃあ未希の質問に答えてー？

未希、会長君に興味あるの♪

あっ♪勘違いしたっしょ♪

あくまできりちんの友人として君がきりちんの彼氏にふさわしいか興味があるの♪

未希、君のこと色々知りたいなー♥

いいでしょ？会長くん♥

やったあ♪んじゃさっそく質問ね♪

きりちんで抜いたことある？

ん？聞こえなかった？

もう一回言ってあげる♥

きりちんで抜いたことある？

あー♥その反応♥図星かなー♥

んじゃさどんなシチュ？

きりちんと校内ラブラブいちゃいちゃセックス？

それともきりちんにごーいんに逆レイプされちゃうとかー？

それともそれともー♪

きりちんに叱られながら脚でシコシコされちゃうとかー？

わかるわかるう〜♪きりちん脚めっちゃきれいだもんね〜♪

特に黒タイツ履いてる時とかヤッバいもんね〜涎でちゃうよね〜♪

あとあとハイソックスの時もたまらんとよね〜♥

わかるわかるう〜♪

わかりすぎて触っちゃうくらい♪

会長くんも触らせてもらえばー？

怒られるけど触っちゃえば大丈夫だって♪

未希がここでこうして生きてることがその証拠♪

それにきりちんが会長君のこと好きだったら許してくれるはずでしょ？

あっ♪



ちなみになんか受け身なシチュ多めだったのは会長くんがそう見えるからであって決して未希の趣味じゃないのであしからず♪

っと♪

後ろの教卓借りるね～？

ほいっと♪

いやーあつぶなー♪

腰打ちそうになったよー♪

あっ♪会長くんそっからパンツ見えてない？

ほんとぉ～？

もっとよく見てよぉ～♪

(ニヤニヤしながら足を組みかえる未希)

未希のスカーツ♪

なんならぁ～♥中見たい？

どうせきりちんパンツ見せてくれないんでしょ？

きりちんお硬いからねえ～あれはあれで乙なんですけどねえ～

その点未希は違うよ♥

どう？見たい？

大丈夫♪きりちん来たら未希が勝手にやったってことで♪どうせ未希悪い子だし♪全部未希のせいにしていいよ♪

あーもうw顔背けちゃって一冗談だよ♪冗談♪かわいいなー♪

んじゃ次の質問♪

きりちんのどこ好き？

恥ずかしがらないで未希に惚気きかせてよぉ～♪

きゃあああ♪

笑顔って！聞いているこっちがはずかしいんですけどー♪

でもわかるう～♪

普段めっちゃクールだからふとした時に笑うと威力やばいよね～

あれずるい！分かるー！！

んでんであとは？

ちなみに未希が個人的に聞きたいのはきりちんのどこの部位が好きかってことかなあ～

髪目鼻口鎖骨うなじにDカップおっぱいにほっそいくびれにすらっとのびる脚どことってもきりちんレベル高いよね～そんな中会長くんはきりちんのどこが好き？

未希当ててあげよっか♥

ずばりい～脚っしょ？

さっきから狼狽えっぱなしでいいとこなしですなあ～会長くん♥

ん〜なんでわかったか？

理由はカンタン♪

さっきの足コキの話もそうだし〜未希が机の上に乗ってから今こうしてる時も未希の脚ばっか見てない会長くん？

うっそだあ〜♪

(やはりニヤニヤしながら主人公の心を見透かすように脚を組みかえる未希)

じゃあ未希がこうして脚組み替えてもとーぜん未希の目見ててくれるよね♥

おっ♪ちゃんとう未希のこと見ててくれたあ〜♪うれしー♪じゃあもう一回ね♥

(さっきより大げさにわざとらしく脚を組み替え遊ぶ未希)

今度はちょっとぎりぎり責めちゃおっかなあ〜♪それでも未希のことよく見ててね♥

あっちょっと見えちゃったかなあ〜♥

うーん会長君に見られちゃうなんてちょっと恥ずかしいなあ〜♥

ふふ♥一瞬目線下に向いたけどすぐ未希のこと見てくれた〜♥

我慢できてえらいね〜♥

そんなに見つめてくれるなんて未希ますます君のこと好きになっちゃうなあ〜♥

(左膝を曲げ腕で抱えるポーズをとる未希)

そんなあ頑張る君のために〜片膝抱えの大サービス♥♥

未希のこっからここ♪太ももの裏からスカートの中まで見せてあげる♥

だから未希のこともっと好きになってね♥

でもって未希から目離しちゃダメだよ♥

じーっとじーっと見つめてね♥

ふふ♥耐えてる♥耐えてる♥

会長くん健気でかわいいなあ〜♥

ちょっと未希から目逸らしたらあ〜未希の太ももとおぱんつ見放題なんだよお〜♥

ふふふ♥別に見てもいいのにそもそもなんで見ちゃいけないかもわからなくなってるのによく頑張るよね〜♥

そういう真面目なときりちんが気に入っちゃうの分かる〜♥

はいよく耐えられました♥

この前の宿題君だったらとっくに負けてるのにさっすがだねえ〜♥

これはご褒美を与えなくてはなりませんなあ〜♥

さてさて何をさしあげようかねえ〜？

うーんそれじゃあ君のシコシコ手伝ってあげよっかな〜♥

ばれないと思った？おちんちんおつきくしてるの♪

未希の目見てただけのはずなのにねえ〜？不思議だねえ〜♥

いいのかなあ〜？きりちんじゃなくて未希で勃起させちゃってえ〜♥

しかもこのまま勃起させたまま未希とお話する気？

それってさあ～未希にすごい失礼じゃない？

失礼だと思うなら鎮めないといけないよね？

でも未希の前でそれができるかなあ～♥

未希の脚とスカートが目の前にあってそれができるかなあ～？

よいつしょっと♪

(教卓から降りて右耳に近づく未希)

だから未希が手伝ってあげる♥

大丈夫♪たった一回♪どうせバレないよ♪

たとえバレてもどうせ未希のせいになるし

だって未希、悪い子だもん♥きりちんに何度も怒られてる♥

君は未希に脅されてシコシコさせられてた

バレたらそういえばいいよ♥あとは全部未希に任せて♥

未希が何とかしてあげる♥

だから後は君がうなずくだけ♥

君は未希をおかずにシコシコにしたいよね？

はい決まり♪

未希が君のシコシコ手伝ってあげる♥

(左側から後ろ側へ回る)

後ろの机借りるね～♥

よいつしょっと♥

(机に乗っかる未希 手拍子しながら主人公を呼ぶ)

はいはいこっち向いて♥

そうそう♪未希の言うこと聞ってる限り未希のせいにできるよ♥

そのままちんちん出して出して～♪

早く早くー♪きりちんきちゃうよー♥

パンツも脱いで未希にちんちん見せて♥

はあいよくできましたあ～♥

それじゃ未希のシコシコに合わせてしてみよっか♪

シーコ♥シーコ♥シーコ♥シーコ♥

未希の手見て♪わっかあるっしょ♥このわっか見ながらしこしこするのお～♥

そうそう♥しーこ♥しーこ♥未希のわっかにちんちん入ったときの感覚を想像しながらしーこ♥しーこ♥  
未希の指が君のちんちんと触れちゃうとおちんちんどうなっちゃうんだろうねえ～♥

このわっかにむけてちんちんシーコ♥シーコ♥シーコ♥シーコ♥

わっかにいれたい？未希にちんちん触ってもらいたい？

でもダメ♥

今日の未希はあくまで君のおかず♥

未希に触ってほしかったらきりちんより未希のこと好きにならないとダメだよ♥ここまで体験版

だから触ってあげられないの♥

ほら♥未希ちゃんの指わっかですよお〜♥ここ目掛けてシーコ♥シーコ♥シーコ♥シーコ♥

もちっとオカズ欲しい？ふむふむ♪その感じだと欲しいようすな〜♪じゃあエアシコシコしながらあ〜エアキスしちゃおっか♥

今から未希のここ♥(口を指さす)

この唇をお〜ぎりぎりまで近づけてあげる♥

でもキスしちゃダメだよ♥

今日は未希は触ってあげないし君も触っちゃダメ♥

触ったら未希君のせいにしちゃうかもよ♥

それに今キスしちゃったら君のファーストキスきりちんじゃなくて未希のものになっちゃうしね♥

それは嫌だよね〜♥初めては大好きな人に捧げたいよね〜♥

ってことで架空のキスで我慢♥

ん〜♥

あっ♪ちょっと待って♥

未希だけキス顔ってめっちゃハズいんですけど〜

君もしてよー♥

ね？おねがい♥

そうそう目瞑って〜♥唇つきだしてえ〜♥そう♥上手♥

んじゃいくよ〜♥

ん〜〜〜〜♥

ぺ□ッ♪

やーいwひっかつかったあ〜♥

君があんまり無防備だから舐めちゃった♪もう♪

未希の言うこと簡単に信じすぎ〜♥未希悪い子だって言ってるじゃん♥

もっと君に悪いことしちゃうよ♥

はーい♥ひらひら〜♥未希のスカート♥

君がシコシコ早くするにつれてこのスカート捲ってあげる♥

未希のスカートの中全部見れるようにシコシコ頑張ってね♥

おー♪早くなってる早くなってるー♪

未希のパンツのために頑張ってくれ嬉しいなー♥

それじゃにご期待に応えてスカート捲ってくよー♪

はーい♥ぱたぱたぱたぱた〜♥

どう？黒いの見える～？それ未希のパンツだよ～

今日の未希のパンツは一♥せつめせつめの黒の紐パンで一す♪

おっ♥はやくなった♪もっと見せてあげる～♥

はい♥ぱたぱた～♥

ほら？紐見えるっしょ？

この紐引っ張るとお～解けてぱんつ脱げちゃうんだよ～♥

ほらぱたぱた～♥

この紐だよお～♥

引っ張ってみる？ほれほれえ～♥

このほっそい紐ひっぱると未希ちゃんのぱんつがはだけで未希ちゃんの見えちゃいけないところが見えちゃうよ～♥

見たい？引っ張って見たいっしょ？

でもお～ダ・メ♥

これ以上見るにはきりちんの許可が必要で一す♥

きりちに未希の紐パン解いてもいいですか？ってお願いしてえ～お許しもらったうえで出直してね♥

ね？無理ってわかったらシコシコに戻る♪

紐パンはちゃんと見せてあげるから♥

未希のパンツでシコシコして♥

ほらシコ♥シコ♥シコ♥シコ♥頑張れ～♥きりちんが戻ってきちゃぞー♥

触れない上に未希にいじわるされてばかりでつらいねえ～♥

なんでこんなつらい思いしなきゃいけないんだろうねー？

それはね？君がきりちんの彼氏だからだよ♥

未希は君のおかず♥

きりちんがいるならきりちに同じことしてもらえばいいだけだしねえ～♥

未希がわざわざやる必要ないよねえ～♪

でも未希が君のものだったらまた別だよ♥

紐パン脱がせるのも未希にシコシコだってしてもらえる♥

羨ましいね～♥もどかしいねえ～♥

こんなに近くににいるのに君は未希に何もできない♥してもらえない♥

この紐パン解いて未希の指わっかにちんちん入れる妄想だけでシコシコするの♥

シコ♥シコ♥シコ♥シコ♥

そろそろいっちゃう？じゃあこのまま未希の囁きで気持ちよくいってね♥

シコシコシコ♥いっちゃえ♥

彼女のいない間に彼女のトモダちにオナニーサポートされながらいっちゃえ♥

バレなかったら浮気は浮気じゃないんだよ♥

しかもこれはただのオナニー♥

君は現に自分でシコシコしてるだけ♥

未希はただのオカズ♥パンツ見せてるだけ♥ただのオナペット♥スマホのエロ動画や画像とおんなじ♥

手緩めちゃダメだよ♥シコシコシコシコ♥

浮気でもなんでもない♥

男の子だったらみんなする生理現象♥君だって毎日やってるでしょ？

ね？だから君がイクのはなーんにも悪いことじゃないんだよ♥

わかったら未希の手♥未希の声♥未希のパンツで気持ちよくいっちゃえ♥彼氏君♥

ちゅっ♥

(射精)

あっ♥出ちゃったね♥未希のこと考えていっちゃったね♥

あーあ♥ザーメン止まらないね♥未希のことで頭真っ白だ♥

未希、君におかずにしてもらえてうれしいよ♥

きりちんで出すより気持ちよかったらもっと嬉しい♥

ねえ？きりちんで抜くより未希で抜く方が気持ちいい？

気持ちいいよね？ほら頷いて♥

うん♥そっかありがと♥

ちゅーー♥

くすっwまだザーメン出てる♥

このザーメンもしかしたらきりちんで出すはずだったのに

未希がびゅっびゅっさせちゃった♥

ごめんね♥

未希が悪い子で♥

こんな未希だけどこれからもよろしくね♥会長君♥

---

## ep.1.5. Re:Turn

---

流れ

霧が戻ってくる

↓

未希とともに霧をごまかす

↓

なんとかごまかし未希退室

↓

霧は自身のパンツを見せて軽く餌付け

---

はあいお疲れさん♥

うわぁー結構におうねー♪

はいこれティッシュ♥さっさとザーメン拭いて♪

(机から降りて窓へ向かう)

よいしょっと♪

(窓開ける)

うーーーーんいい空気♥

食後にぴったり♪

ん？拭けたー？

あーいいよいいよ♪

それごと君にあげる♥

ぜひぜひ未希だと思って使ってね♪

ほいじゃ未希そろそろ行くねー♪

きりちんに見つかるめんどーだからねー♥

未希の暇つぶしに付き合ってくれてありがとー♪

あっ♪一つ忘れてた♪

君なんかSNSやってる？未希に教えてほしいなー♪

そしてもっと君と仲良くなりたんだけどおー

ダメ？

やったー交換交換♪

うん♪そ早く早くー♪

ふっふーん♪はあい♪ありがとー♥

(ドアが開き霧が教室に入ってくる)

霧⇒あら？未希じゃない？

ふーん...二人で仲良くなにしてるのかしら？

未⇒うわぁ...きりちんだ！

霧⇒何その反応...<sup>やま</sup>疚しいことでもしてたのかしら？

未⇒いやいや滅相もございません。二人できりちんの悪口言っていましたあ〜♪

霧⇒へりくだってるくせにえらく<sup>やま</sup>疚しいことしてくれてるじゃないの？

会長あなた私に何か不満でも？

ちょうどいいわ私に聞かせて頂戴♥

未⇒はいはあーい♪会長がきりちんのぱんつみたいのに見せてくれなくて嘆いてましたあー♪

霧⇒未希シャラップ

未⇒サーイエッサー♪

霧⇒あなたほんとにそう思ってるの？

未⇒適当にハイって言って♪

霧⇒ふうーん...それはつまり...未希だったら見せてくれるってことかしら？

(未希、手をあげながら適当に裁判の真似事をするように言う)

未⇒霧裁判ちょーその質問は本件に無関係である上に個人への侮辱行為に当たると考えられまーす

(未希のごっこ遊びに乗ってあげつつきっぱりと切り捨てる霧)

霧⇒これは被告の思考を判断する、本件に欠かすことのできない重要事項であり、ご指摘通り侮辱の意を込めたので異議の一切を却下します。

未⇒未希そんなほいほいパンツ見せてないんですけどお〜♪

霧⇒その短さでよく言えたわね？ちなみに紐、見えてるわよ

未⇒えっ！？マジ？

霧⇒嘘。でも紐パンは朝階段で確認した

未⇒あちゃ〜これは実刑ですなあ〜♪

霧⇒んで会長？いや被告人？貴方は未希にパンツを見せてもらったのかしら？

ふ〜ん偶然ね♪

まあ...私も階段で嫌でも目にしちゃったわけだしね

未⇒未希のパンツってそんな嫌？

ちょっとガチ凹<sup>へこ</sup>みしそうなんですけど...

霧⇒んで？そっからは？

未希のことだからパンツ見せただけで終わりとは思えないんだけど

未⇒いやだなあ〜人をビッチみたいに

霧⇒違くて？

未⇒未希明日学校休む〜；；

霧⇒よくさぼる癖によく言う。んでパンツの先は？

未⇒おまん...

霧⇒それは奥！というより見せたの？

未⇒見せてない♪見せてない♪

未希が見せるわけじゃないじゃん♪ねー？

霧⇒それもそうね...じゃあ何をしてたのかしら？

未⇒きりちんの一番そそる部位について話してましたー♪

(霧呆れる)



霧⇒はあ？なんでそうなるのよ？

未⇒だって未希たちきりちんのことだーい好きだもん♪

ねー？会長♪

ちなみに全会一致で脚が一番やばいってことになったよ♪よかったねきりちん♪

(更に呆れる霧)

霧⇒はあ...未希あなたの脳みそはそんなんばっかなの？

未⇒はい♪一日中きりちんのことを考えてまーす♪

霧⇒もう少し生き方考えた方がいいわよそれ

未⇒自分不器用なんで♪

(迫及する気を失くし深くため息をつく霧)

霧⇒はあああ...真面目にやってるこっちがバカみたいじゃない...

未⇒未希も真面目ー♪

霧⇒はあ...今言ってた内容に嘘はない会長？

未⇒ねー？

霧⇒ふう...そう...もういいわ今回は大目にみてあげる。

未⇒グイっ♪助かったね会長くん♥

霧⇒はあ...あなたと <sup>あげつら</sup>論うとどつと疲れるわ...

(ご機嫌をとろうと下手に出てみる未希)

未⇒副会長ー♪お茶入れましょうか？

霧⇒未希それ生徒会の備品もういいから早く帰って頂戴

未⇒はい♪じゃあ会長♪霧様お邪魔しましたー♪

(生徒会室を出ようと左から右へそそくさと歩く未希)

霧⇒ええほんとにお邪魔だったわ

未⇒聞こえたんですけど～

霧⇒聞こえるように言ったから当然よ

未⇒ふーんだ！きりちんの一番もらっちゃうんだから♪

霧⇒くすっ♥それは楽しみねやっごらんない♪

(あっかんべーする未希)

未⇒ベーーーーっだ♪

(未希走り去っていく)

霧⇒ふう...やっとうっていったかしら...あなたもあの子のペースに合わせて大変だったわね

ところでさっきの話がほんとだとすると

あなた私のパンツそんなに見たいのかしら？

そう...くすっ♥

いいわよ見せてあげる♥

ほらこれ裾、掴みなさい♥めくらせてあげる♥

どうしたの？めくらないの？じゃあ私と一緒にめくりましょ♥？

どう？これがあなたの見たかったパンツ

未希の紐パンと私の黒パンどっちが好み♥？

どっち？正直に言ってごらんなさい♥

そうよね♥私よね♥

未希の無料配布パンツより私のパンツの方がありがたいわよね♥

当然よね♥

でも気分がいいからもう少しだけサービスしてあげる♥

私の脚がいいって言ってくれたみたいね♥

触っていいわよ♥

裾から手離して？♥その手で私の脚お触りしなさい♥

ほら？さすさすすりすり♥貴方がいつも見てる脚よ♥

この脚に触れてみたかったでしょ？

好きに触っていいわよ♥ダメならダメって言うから♥

手だけでさするだけで満足？

もっと貴方の欲望を私の脚にぶちまけていいのよ♥

そうねえ〜たとえば頬ずりとかしたくないのかしら？

私の太ももの間に顔を挟まれないとか普段貴方が布団の中で妄想してること私にしてもいいのよ♥

そうそれでいいわ♥

あなたはそれでいいの♥

ね？未希より私の方がいいでしょ？

私のこと好き？

そう♥よしよし♥いいこいいこ♥

私もあなたのこと大好きよ♥

だからよそ見なんかしちゃダメ♥

貴方は私だけを見てればいいの♥そうでしょ♥会長♥

---

## ep2.0. Re:Re:Verse

---

流れ

生徒会室で未希が着替えをすることに

↓

未希の着替えを手伝わされる

↓

未希のブラをつけさせられながら乳首責め

↓

スカート(実は霧のスカート)履かされて太ももコキ

↓

フィニッシュ

---

(廊下を駆ける未希)

(勢いよくドアを開ける未希)

未⇒生徒会室かかりまーす♪

(未希の方へ振り向く会長)

あっ会長くんやっばいた♪

しかもぼっち♪

(自然と主人公に近づく未希)

んー！会長君反応うっすいぞー♪

きりちんの次に大好きな未希が来てあげたんだよ♪

もっと喜んでほしいなあ♪

用事？ないとここきちゃダメなの～？

じゃあ...

会長くんに会うため♥

じゃダメ？

もうニヤニヤしちゃってかわいいなあ～♥

でもね～実は半分なんだ♪

ここに来た理由♥

がっかりさせちゃったらごめんね♥

実はもう一つちゃんとしたお願いがあるんだけど会長くん聞いてー？

実はね？ここでえ～♥

お着替えさせてちょーだい♪

気づいた？

未希部活終わりなの♪

そうテニス部♪

テニスウェアかわいいっしょ♪

もちろん下はアンスコ♪

ちらっ♪目逸らさなくていいのに♪

見られてもいいように履いてるの♪

ふっふーん♪

でねでね♪

いま更衣室が使えないからここ使わせてくれない？

会長くん？

(水道管を破裂させたのは未希がその責任の一端を担っているのに、やけに白々しく話す未希)

なんかねえ～更衣室が水浸しになっちゃってね～♪

なんでか？なんでだろうね～♪

水道管でも破裂したんじゃない？

あそこ古かったし～♪

未希しらないい♪

とにかく～♪

未希汗だくだし荷物取りいったらびしょびしょだし～さっさと着替えたいなあ～♥

ここ使っちゃダメ？

やったー♥会長くんならそう言ってくれると思ったー♥

やっさしー♪

(教室から出ようとする主人公の肩を叩き後ろから囁く未希)

はーいストップ♥

そりゃあここから出るようにするよね～♪

予想通りの返事に予想通りの動き♪

全部未希の予想通りだよ♪

会長君♪

はーい♪席に戻って♪

(元の位置に戻される主人公)

未希が君を逃がすと思ってる？

未希がなんでわざわざここ選んだかわかってる癖にい～♪

もっと君を未希のものにするためだよ♥

だから特別に君に未希の着替え見せてあげる♪

あっそうだ♪

(鞆を置き中を探る未希)

んーっと...あった♪

ほい♪これ持ってて♪

せーふく♪

よかったらクンクンしていいよ♪

特別に許可してしんぜよう♪

でも舐めたりとかしたらお買い上げしてもらうはめになるからお互いのためにやっちゃダメだぞ♪

(服を脱ぎ始める未希)

ふー汗かいたべたつくう〜♪

真面目に練習なんて未希苦手ー♪

練習自体もそうなんだけどお〜

(上を脱ぎ終えブラを露わにする未希)

未希これあんま好きじゃなーい！

これー！スーポーブーラ！

めっちゃ窮屈なんだよーこれ！

見てよお〜♪これ〜♪

未希のおっぱいただでさえ大きいのにスポブラで寄せあげされてたいへんなお〜♪

って〜♪ちゃんと見てないしい〜w

それとも未希のおっぱい見るのいやー？

いやじゃないよねー♪

未希がこうして見せてるあげてるんだからちゃんと見なきゃ損だよー♪

じゃないとこっちが恥ずかしくなるじゃん♪

おかげでさーほら♥見てー♥未希の谷間ー♥汗かいちゃってるんだよー♥

あっそうだ♪ふっふーん♪

未希の指で未希の谷間をなぞってえ〜♪

はいあーん♪

(指をしゃぶらせる未希)

ちゅーーーっば♥

どう？おいしい？未希の汗♥

そう♪よかった♪

それじゃあ君のもってる服の中から未希のブラ出してくれる？

そう♥

オレンジと黄緑のチェック柄のやつ♪かわいいっしょ♪

あー♥その匂いは嗅いじゃダメ♪早く未希にちょーだい♪

あっ！ごめん♪やっぱもってて♪

片手塞がっちゃうと脱ぎづらいし♪

でもでもー♥こーして向かい合ったままだとー♥

君に未希のおっぱい全部見えちゃうからなー♥

未希それ困るな〜♥

あっ♪

君未希のことビッチって思ってるっしょ？

「ビッチのくせに乳首くらいどうってことないだろ」って♪

心外だなあ〜♪

こう見えて未希決めてるんだよー♪

下着の中は未希が好きな人で未希のものになった人にしか見せないって♥

逆に言うと下着は別に誰に見られてもいいってこと♥

ってことで君は今少なくともきりちんのものだから見せられないなー♪

だからごめんね♥

ちょっとの間我慢しててね♪

(未希後ろを向きブラを脱ぎ始める)

脱ぎ脱ぎ〜♪うー...きつつうー

うっ...うん...つと...よいしょつと♪

ふー♪すっきりー♪

(未希、胸を左腕で抑えながら右人差し指にブラをひっかけぶらつかせながら顔だけ主人公に向ける)

かいちょーくん♪ブラちょーだーい♪こーかん♪

未希の指にあるやつ取って君の持ってるやつひっかけてくれる？

うん♪そう♪ありがと♪

(再び後ろを向き前傾姿勢になってブラをつける未希)

ほいっとなんっ...んしょっ...ん？あーれ？なーんかこれもキツイ気が...えー...これ買ったばっかなんですけどー...うんにゃあ...めんどー...

(後ろ向きのまま接近する)

会長くーん♪ブラのホックつけてくれなーい？

できなーい？

じゃあできるようになろっか？

未希が練習台になってあげる♪

鍵になってる方を一番内側の穴に引っかけるだけ♪

ね？カンタンでしょ？

(艶っぽい声を少しあげながら指示する未希)

うん♥そうそう♥あっ♥んっ♥はい♥

上手♥あとはこっちでなんとかしてっとなん♪

いちおーこれでよし♪

でーきた♥

ありがと♥

未希の未希のブラ付け楽しかったー？

ムラムラしたー？

見てるだけじゃ我慢できなーい？

未希もこのままただ着替えるだけじゃ退屈ー♪

ってことでね♪

未希♪

いいこと思いついたのー♪

へっへーん♪

君もお着換えしよっか♪

ほーい♪たってー♪

あっ♪

ちょっとちんちん勃ってる♪

恥ずかしいね♪

つーんつん♪

はーい♪

それじゃ上脱いで♪

(ワイシャツを脱がされる主人公)

もっと未希に委ねて♥

(なすすべもなく肌着も脱がされる主人公)

下もいっちゃう？

ぬきぬきしたいっしょ？

ん？きりちん？

だいじょーぶ♪

未希の予想だと今床掃除してるんじゃないかな♪

いやー生徒会ってたいへんだねー♪

とにかくお忙しいきりちんは置いといて♥

今は未希とお着替えしよ♥

いいよね？

ってことで下もぬぎぬぎい〜♥

(ベルトもスラックスも脱がされる主人公)

それでおぱんつ脱いでおちんちんにご挨拶♪

こんにちはー♪

ふふ♪

ぴくぴくご挨拶よくできましたー♪

褒美としてさっき脱いだスポブラ着けてしんぜよう♥

(未希主人公の背後に回り込む)

はい♪バンザイしてえ〜♪するするするう〜♪

くすくぐったい？がーまん♥

(スポブラ装着)

ほーい♪いっちょ上がりい〜♪

どう？ブラ着けた感想♪

女の子にされちゃった感想♪

なんか安心するよね〜♪包まれてホッとしちゃう？

それが女の子の気持ちだよ♪

わかるかなー？会長ちゃん♥

気分の次は体も女の子になろっか♪

ね？会長ちゃん♥

ち・く・び♥

未希が弄ってあげる♪

ブラの上から両乳首さわさわ〜♪

女の子の体♪

やさーしくやさーしくだーいじに撫でまわしてあげる♪

ふふ♥

乳首たってきてるね♪

ブラの上からかたくなってきてるの未希にもわかるよ♪

ちょっとさわっただけで反応しちゃうなんていんらん♥

すけべな女の子だなー♥

かわいいー♪

エッチな子未希好きだよ♥

だからもっと未希に君のエッチなところ見せてほしいなあ〜♪

女の子同士だしー♥いいよね♪会長ちゃん♪

ふふ♪かわいいお返事♪未希嬉しいー♪

それじゃ乳首さわさわさいかーい♪

すーりすーり♥すーり♥すーり♥そんでえ〜乳首ぎゅうー♥

ふふ♪びっくりした？

かわいいからイタズラしちゃった♪

声出ちゃって恥ずかしいね♪

もっとしてほしい？



未希に乳首すりすりぎゅーしてほしい？

してほしかったらうーんそうだなー

かわいらしく

「未希お姉さま♥乳首いじめてほしいにゃん♥」

って言うてみようか♪

ちゃんとにゃん♥っていわないと未希やってあげないからねー♪

いい？それじゃ恥ずかしがらずかわいらしくさんはい♥

きゃー☆＼会長ちゃんかわいい♥

もう一回いって♪

もう一回♪さんはい♥

きゃー☆＼照れちゃってかーわーいーいー♪よくできましたー♥

しょうがないなー♥

お姉ちゃんが君の乳首を弄ってしんぜよー♥その代わり♥

いっぱい狂ってね♥

すーりすーり♥さわさわさわー♥すーりすーり♥ぎゅうう♥

すーりすーり♥すーりすーり♥こりこりー♥ぎゅっ♪こりこりー♥ぎゅっ♥

ふふ♥乳首だけでイッちゃいそうだね♪

恥ずかしがらなくていいんだよ♥

だって君は女の子なんだもん♪

よっわい女の子は乳首に勝てないの♥当然だよ♥

未希のブラ付けて未希に乳首弄られてるよわよわな君が男の子名乗る資格ないよね〜♪

この姿きりちんに見られたらどうなっちゃんだろうね♥

きっと軽蔑、ドン引きされちゃうねー♪

つめたーくコケにするような目でみられちゃうねー♪

嫌われちゃうねー♥

それもたままない？へんたーい♥

きりちに言いつけてちゃうぞー♥

いやだねー♥そんなの♥きりちに嫌われたくないねー♥

でもっ♥未希は違うよ♥その姿の君も大好き♥

たとえ君が女の子でも未希は受け止めてあげる♪

どんなにかよわい男の子でも未希は受け入れてあげる♪

未希を悦ばせてくれるならなんでも受け入れてあげる♥

ね♪幸せっしょ？

きりちんより未希の方がいいっしょ♪

きりちんがしてくれないこと未希だったらいっぱいしてあげる♥

ね♪どんどん未希のものになりたくなってきたっしょ？

はい♥お返事♥乳首ぎゅうう♥

ふふ♥乳首みたいに君も正直になろうよ♥

未希ときりちんどっちがいい？

どっちが君を幸せにしてくれるかな？

未希だけに聞かせて♪

さんはい♪

もっと大きな声で♥

かりっ♥かりっ♥

そうその声と同じ音量で♥

さんはい♪

うん♥よろしい♥

はいこれぞ褒美♥

さわさわ♥かりかり♥ぎゅっ♥ぎゅっ♥ぎゅううう♥

あはははwおもしろーい♥

かりかりかりかりかりい〜♥

君の乳首はもう未希のおもちゃ♥

もっと未希を楽しませてね♥

わかった♥

つーん♥つん♥

そしたら次は唇もらうね♪

はあいこっち向いて♪

未希に唇ちょーだい♥

ちゅっ♥

はい♥これで君は未希のもの♥

でもまだきりちんには秘密だよ♪

これは約束♪

わかった？

えーほんとかなあ？

はい♥乳首ぎゅううううう♥

ふふ♪会長ちゃん素直でかわいいなー♪

でもでも会長ちゃん♪

君のところに付いてるのなにかなー？

それ男の子につけてるやつだよ〜♪

しかもガチガチに勃起させてあるで男の子みたいだねえ〜♪

ダメだよ♪

女の子がちんぽガチガチにしてるの人に見られちゃ♥

隠すのが乙女のたしなみってやつ？

ほい♪スカート貸したげる♪

つけ方分からない？

もう会長ちゃんは未希がいないと何もできないのかなー？

しょうがないなあ〜未希がつけたげる♪

前向いて♪

はーい♥足上げてー♥

ここをこーしてこうやってつけるんだよ♪

(立ち上がる未希)

わかった？会長ちゃん♥

スカート似合ってるよ♪

ふふ♥ほら裾ひらひらー♪

あー！！もう！！

ほらー♥手で押さえないー♪

裾掴んでひらひら〜♪

そうそう♪

うーん♪かわかわー♪

でも全然隠せてないー♪

(耳うちする未希)

ちんちん勃起してるのバレバレー♥

スカート盛り上がってるよー♥

ってかさっきより角度エグいことになってない？

スカート履いてこーふんしちゃってるんだー♥

しかもそれを未希に見られてこーふんしてるんだー♥

そうなの？そうなんだー♥

エッチ♥へんたーい♥

見せられてる未希の気持ちも考えてよー♥

(身を引き、目を見ながら話す未希)

なーんて♥

君が悦んでるなら未希はそれでいいよ♥

その代わり今度は未希を悦ばして♥

未希のことスカートで誘惑して♪

スカートたくし上げたりパタパタさせたり♥君がやられたら嬉しい誘惑を未希にして♥

上手に未希をこーふんさせることできるかな〜？

あー♥ちんちん見えちゃいそうー♪

はずかしい♥

大事なとこ未希に見られちゃうね〜♪

あーまたそういうとちんちん反応させてー♥

未希のこと誘惑するー♥

そんなことするとー♥

たべちゃうぞー♥

(後ろにまわりこむ未希)

後ろはどうかな〜♪

(未希屈む)

あーお尻見えちゃう見えちゃう♪

(未希立ち上がる)

ふふ♥いやー押さえつけるとますます見たくなくなってしまいますなー♥

(未希前へ回り込む)

それで後ろばっかに集中すると前がお留守になっちゃうんだよね〜♪

ふふ♪あはははは♪いやー満足満足♪

さーて♪女の子イジメはここまでにして

そろそろビュービューさせちゃおっかなー♪

いっぱい楽しませてもらったしちょっとサービス♪

未希の太ももでびゅーびゅーさせてあげる♪

未希と密着してこの太ももと股にそのメスおちんちん挟まれてへこへこしたいよねー？

(無理やり同調を求めるかのように圧力をかけながら)

ねー？

はい決定♥

じゃあ未希姉ちゃんの胸に飛び込んでおいで♪

会長ちゃん♥

ぎゅううう♥ってしたげる♥

はい♥ぎゅううううううう♥

そして女の子おちんちん太ももでぎゅうううううう♥

君のちんちんっーかまえた♥

準備完了♪

へこへこ動いていいよ♪

思いきり動かして気持ちよくなってる姿見せて未希を楽しませてね♪

はい♡

へーこへーこ♡

未希のやわらかーい太ももの間で

もみ♡もみ♡むにゅ♡むにゅ♡むち♡むち♡ぱん♡ぱん♡

ちんちんが未希のやわやわですべすべでむちむちの太もも欲しさに腰つき出してちんちん奥に突っ込んじゃうんだよね♡

でも♡勢いよく突き出した癖に♡

君のよわよわちんちんはむちゅむちゅむちゅ♡って未希の太ももの刺激に耐えられずノックアウト♡

へっぴり腰になって帰ってきちゃうんだよね♡

そしてまた凝りもせず未希の太もものにこすり付けてたくて腰を情けなくつきだしてちんちん差し出しちゃう♡

以下ループ♡逃れられない♡

射精するまでへこへこ♡へこへこ♡

何度も何度も未希の太もものに負け続ける負けちんぽ♡

はい♡そのまま♡へーこ♡へーこ♡

ほらほら♡

まぬけ♡

未希の太もものに負けるな♡

未希にバカにされっぱなしなっさけないぞ♡

未希にかっこいいとこ見せてよ♡

はい♡へーこ♡へーこ♡

あははwww勝てないね♡未希ちゃんに勝てないね♡悔しいね♡

何回ちんちん突き出してもよわよわにされて帰ってきちゃうね♡

悔しかったら♡もっとへこへこぱんぱん早くしなよ♡

ほら♡へこへこ♡パンパン♡へこへこ♡パンパン♡

あははははwwwもっと弱くなってるwwwしかも自分からwww

よっわ♡

敗北腰へこダンス上手だね♡

すごい無様♡

似合ってるよ♡

もっと未希にみっともない姿見せて♡

ほーいへこへこ♡ぱんぱん♡へこへこ♡パンパン♡

恰好も女の子♥でも同じ女の子に負けちゃう♥

つまり最弱だねー♥

はあい☆未希の太ももへ腰へこダンス♥

すりすりへこへこぱんぱん♥すりすりへこへこぱんぱん♥

頑張れー♥頑張れー♥生徒会長ー♥

未希みたいな悪い子に負けちゃだーめだぞー♥

優しい未希が負けっぱなしの君にチャンスをあげるー♥

ちんちんで倒せないならキスで未希を負かしてみて♥

ちゅっ♥

きりちんより先に未希としちゃったね♥

きりちんとの初めて未希がもっと奪ってあげる♥

はーい♥舌だしてえ〜♥

ちゅぽ♥じゅるる♥じゅうう♥ちゅぽ♥んっ♥はあ♥じゅるるるちゅぽ♥

はーい♥ベロチューもーらい♥

あー♥顔とろけちゃってるぞ♥

また未希に負けちゃったね♥

ダーリン♥

なーに？もうキスしたんだから恋人も同然だよな？

ね？

もう一回キスしょ？いいでしょ？ダーリン♥

んあっ♥んっ♥んっ♥あっ♥んふっ♥れろれろ♥れろおん♥んっ♥はあ♥んっ♥れろおおおん♥じゅるるるう♥ちゅぽっ♥

もっと激しくう〜☆もっと奥にい〜☆未希の中に出して♥

未希のカラダにこすりつけてもいいよ♥

未希のおっぱいにお顔ごしごししてもいいよ♥

未希のにおいをいっぱい嗅いでも許してあげる♥

これが未希の匂い♥

大好きな未希の匂い♥

もっと未希で気持ちよくなって未希に逆らえなくなろうねー♥

はーい♥すりすりい〜♥すりすりい〜♥へこへこお〜♥へこへこお〜♥ぱふぱふ♥ぱふぱふ♥

匂いにキスに太ももにおっぱい♥

未希の全身どこと戦っても全戦全敗♥

勝ち目なし♥

でもしょうがないよね未希が相手だもん♥

負けていいんだよ♥

未希はダーリンに負けてほしいの♥

未希に負けるほど未希が好きになって♥

未希のわがまま聞きたくなって♥

未希なしでは生きられなくて

君の一番が未希になる♥

だからダーリン♥

未希に負けちゃお♥

ちゅっ♥

大好きな未希の太ももでなっさけなくイッちゃう姿早く未希に見せて♥

そうだ♪

ラストスパートのために一つイイコト教えてあげる♥

きりちんってしっかりものだと思わない？

だよねー♪

未希もそう思う♪

だって制服の替えを学校に置いてるんだもん♥

なんの話か分からないかなー♥

実は今君が履いてるスカート♥

未希のじゃないって言ったらどうする？

なーんか勝手に勘違いしてたみたいだけどー

未希一言もそのスカートが未希のって言ってないんだよねー♥

あー♥へこへこ早くなったー♥さいてー♥

君今なにしてるかわかってるかなー？

分かってるから早くなっちゃうんだー♥

もっとさいてー♥

でも未希は応援してあげる♥

未希に負けてきりちんのスカートにぴゅっぴゅっ頑張れー♥頑張れー♥

フレ♥フレ♥ダーリン♥イケイケ♥ダーリン♥負けちゃえ♥負けちゃえ♥ダーリン♥

屈しろ♥屈しろ♥ダーリン♥

太ももパンパンちんちん楽しいね♥

きりちんとのおしゃべりより楽しいね♥

きりちんのスカート汚しちゃうのドキドキするね♥

きりちんとの帰り道よりドキドキするね♥

未希とチューできて幸せだね♥

きりちんとのチューより幸せだね♥

もっと未希が幸せにしてあげるから♥

未希のものでいてね♥

よそ見しちゃダメだよ♥

ダーリン♥

ちゅっ♥(耳にキス)

(射精)

びゅっ♥びゅっ♥びゅるるるる♥

未希の太ももにびゅーびゅーびゅううう♥

きりちんのスカートにザーメンいっぱいつけちゃってるねー♥

気持ちいい？未希にさせられちゃうお射精♥

未希に負けるの気持ちいよねー♥

出し終わっても未希のカラダにすりすりしていいよ♥

今は君のための未希だよ♥

未希の体そんなに好き？

うんうん♪すなおでかわいいなあ〜♥もう♪

ごめんねきりちん♪きりちんのダーリン未希の体大好きだって♥

匂いもおっぱいも太ももきりちんよりいいんだって♥

でもスカートだけは汚しがいあったみたいだよ♥

よかったねきりちん♥

だよ♥ダーリン♥

うなずいちゃって

もう未希のものだね♥

ちゅっ♥

ふふ♥でもきりちんの目の前でまだ言っちゃダメだよ♥

これ未希とダーリンとの約束ね♥

そうだ♥ダーリン♥もう一つ約束♥

デートしよ♪

今度の土曜日♪

未希ね〜♪富士山登りたいの♪

あはっ☆うっそー☆冗談♪

未希の服一緒に買いに行こ♪

ね？いいでしょ？

やったあー♪絶対だよ♥

---



### ep.3.0. Re:Re:Re:Write

---

流れ

霧が来ることを察知した未希は教室の掃除用具入れに入る。

↓

霧入室。そこはとないプレッシャーをかけながら主人公を追い詰め奉仕させる

↓

主人公の浮気を許しながら靴下や足をおかずにしこらせる

---

(スマホの通知音)

(右側の机に置いていたスマホを手に取り画面を見る未希)

未⇒ん？だれから？

(右向いたり左向いたりあわただしそうにする未希)

未⇒やばっ！？きりちん仕事はっやー！？会長くん早く着替えてきりちんここに来ちゃうって！！

なんでって...なーんでも！！今はそんなこと考えてる場合ないの！！

(わちゃわちゃ焦りを見せる未希)

ああ！？会長君のスカートがばれると一番やばいのー！！

早く脱ぐ脱ぐー！！

んー未希の着替え間に合わないし！

ていうかその前に未希と君が一緒にいるのも大問題だし！

そもそも今きりちんと顔合わせるの是最悪だし！！

未希ちんぴーんち！！

(考えこむ未希)

うーん...うーん...ここで未希が生きて帰れる方法はー.....うーん.....

(決心のついた未希はいつも通りの軽い調子で主人公に話す)

よし♪会長くん♪

未希そこの掃除用具箱に隠れるから適当にやりすごして♪

帰ってきたきりちんをこの部屋から連れ出して♪

どうやって？ってそんなの未希知らなーい♪

一緒に購買行くとかエッチしに行くとか色々あるでしょー♪

ってことで会長くん♪後は任せた♪

(掃除用具入れに向かいその中へ入る未希)

(必死に証拠隠滅にはかる主人公)

(廊下から余裕をまとった落ち着いた足音がこちらに近づいてくるのが分かる)

(ゆっくり開かれる引き戸)

(未希が主人公をたぶらかしていることをとっくに見透かしている霧は怒りを露わにせずにこやかにしながらも主人公をちくちく攻撃し主人公に罪悪感を与え追い詰める作戦をとる)

(霧:右斜め前 遠距離)

あら♪ごきげんよう♪

(徐々に歩みよる霧)

どうして突っ立ってるのかしら？

(霧:正面 真ん中 10cm)

座っていいわよ♪

(右耳 斜め前 5cm)

す・わ・り・な・さ・い♪

(雰囲気のにまれ椅子にへたれるように座る主人公)

(霧:正面 真ん中 10cm)

はいよくできました♪

えらいわね♪

そういえば「なんで遅れたの？」って聞かないのね？

まあ...聞かれたところで大した理由じゃないし別にいいけど♪

ちょっと厄介ごと押し付けられただけだし

そう未希にねよくわかったわね？

誰かから聞いた？

例えば...**本人**とか？

例えばよ♪

くすっ♪

まあいいわ♪

とりあえずそのまま話を聞いてくれるかしら？

事の始まりはここに向かう途中よ。

未希と**たまたま**出くわして案の定絡まれたの

それで部室棟にある更衣室を通りがかったら水道管が破損して水漏れしてるのを私たちが発見したの

未希には止水栓、元栓とは異なる緊急時の水栓があるんだけど、これを探して閉めるよう指示して

私は急いで先生に報告しに行ったの

それで戻ってみたらどうなったと思う？

彼女、水を一切止めずに自分の荷物だけもって姿を消しちゃったの♪

不思議なこともあるのね♪

一体彼女どこに消えたのかしら？

水漏れ止めるっていう友人の頼みより大事な用事があったのかしら？

だとすると私に絡んでる場合じゃないと思うんだけど♪

彼女に一体何があったのかしら？心配だわー♥

ね？

くすっ♪

あっごめん♪私ったらついあの子が心配で前のめりになっちゃったわ♥

座った方がいいわね♪

(ゆったり椅子をひき腰かける霧)

それでそのあとは水の後処理やらなんやらでいい運動になったわ♪

次会ったらお礼しなきゃいけないわね♪

何がいいと思う彼女へのお礼♪

肩揉みかしら？脚を揉んでもらうのもいいわね♪

貴方はどう思う？

(プレッシャーから霧のご機嫌を取るため肩を揉もうと席を立つ主人公)

くすっ♪

あら？別に貴方には頼んでないわよ？

私はあの子のお礼にと思ってたのに

くすっ♪

どうしてかしらね？

まあせっかくの好意ですし有難く受け取ろうかしら？

だったらそうねえ～脚もんでもらえる？

ほらこっちいらっしやい私を歩かせるつもり？

(主人公近づき彼女の正面へ)

(霧主人公の顎を撫でまわす)

はい♪いいこ♪

それじゃ足の裏からやってくれるかしら？

(上履きを脱ぐ霧)

(恐る恐る足の裏を揉み始める主人公)

んっ...そこ...もっと強くしていいわよ...はぁ♥んっ♥

ねえ？私のこと好き？ほんと？だったらその分強く押してちょうだい♪

あっ♥んっ...♥それだけ？ほんととは未希の方がいいいでしょ？

違う？

じゃあなんで力緩めたのかしら？んあっ♥まだ足りない♥

未希みたいな、んふっ♥、お手軽っ♥尻軽っ♥んっ♥ビッチがお好みっ♥なんでしょ♥

ほんとかしら？だったら...もっと...んっ♥奉仕なさい♥

んんっ♥何をしたかは知らないっ♥

けどやましいことをしたと思うならっ♥

なおさら尽くしなさい♥

はぁ♥私の気が済むまで♥っんむ♥

もっと指に近い部分揉んでくれる？

んっ...もうちょい...左♥あっ♥そこっ♥もっと強く♥ん♥そう♥もっと♥できる強くっ♥くっ♥ん♥そう♥

んふ♥ん♥その場しのぎの弁明なんていない♥

ん...♥裏切った分私をさらに好きになってくれればそれでいいのっ♥くあっ♥

んふー♥ふう♥一回間違えたなら三回私に尽くして償いなさい♥

んっ♥ありがと♥揉むのやめていいわよ♥

でもこれでわかったかしら？

悔いる暇があるなら私のことを考えなさい

私のことを愛しなさい♥

その方が幸せでしょ？

(霧:優しくさとすように囁く)

ほら顔、もっと足に近づけていいわよ♪

この汗の匂い好きでしょ？

私の足揉みながら嗅ぎたいって思ってたでしょ？

貴方の考えなんてお見通しよ♥

嗅いでいいわよ♥

大好きな飼い主の匂いよく覚えさせなさい♥

この匂いを嗅いだ瞬間自分が誰の物か思い出せるよう♥

鼻、肺、脳体全体を私の匂いで満たしなさい♥

未希のぬるい好きなんて私が何度も上書いてあげる♥

だから貴方は思う存分悩みなさい♥

未希か私か♥誰に尽くしたいか♥

すぐに答えは求めない

迷いに迷って答えを出しなさい♥

でも一つ忘れないで♥

迷ったら私が導いてあげる♥

何度だって貴方は私のものだって思い出させてあげる♥

鼻こすりつけていいわよ♥

ほらもう未希の匂いなんてどうでもいいでしょ？

思い出せもしないでしょ？

貴方にとって未希なんてその程度なのよ♥

貴方の中の私に比べたらなんてことないの？分かったかしら？

分かればいいの♪

はい深呼吸♥すってえ♥すってえ♥はい止めて♥

ゆっくり吐いていいわよ♥

全部吐きなさい悩んだ分全部♥よく悩めたわね♥えらいわよ♥

あら？何かおかしいこと言ったかしら？

悩んでたんでしょ？過ちをおかしたこと♥

未希と私どっちがいいか♥とか色々♥

悩んでくれたんでしょ？

悩むのは正しくあろうとするから♥

正解を求めて選択肢を求める♥

そして選択肢が互いに我こそは正解だと主張する♥

だから迷う♥

そう考えると悩みって案外悪いことじゃない♥

健気だと思うわ♥

だから褒めたの♥

そして今こうして私が貴方を導いてあげてるの♥

さっきまで貴方にとって私は数ある選択肢の一つだった

未希と同じくらいにか細い選択肢だった

でも今はどう？

私の匂いで満たされるにつれて貴方の脳内の選択肢は私だけになっていく♥

霧様がいい♥

霧様しかいない♥

霧様以外考えられない♥

そうでしょ？

この匂いをたどれば貴方は迷わず私にたどり着く♥

正しくいられる♥

いつしか私以外の選択肢がいなくなる♥

そのとき貴方の一番は私になる♥

つけ入る隙なんて与えないナンバーワンのオンリーワンに♥

そうなったとき私も貴方を一番にしてあげる♥

でもまださせない♥

そのときまで空席にしておく貴方のためにとっておく♥

約束するわ♥

だから迷いなさい♥

迷った果てで私は待ってる♥

引き止めない

悩んだ末私を選んでくれる限り私は何度だって貴方を導く

手を貸してあげる♥

ああw今は足だったわね貸してたのw

それじゃもう少し貴方に私の脚貸してさしあげようかしら？

(おもむろにゆっくり左右に脚を広げる霧)

ほらよく見なさい♥

貴方の好きな霧様の脚がはしたなく開いてくわよ♥

こんな未希みたいな真似気乗りしないんだけど貴方のためならやってあげる♥

はい♥

私の脚の間に顔置きなさい♪

(霧の脚の間に吸い込まれるように恐る恐る顔を近づける主人公)

そこじゃないわもっと近く♪

うんその辺♥

(脚を閉じ太ももに右肘をつけて主人公の左耳元に囁く霧)

っーかまえた♥

離してあげない♥

私の太ももが食べちゃった♥

もぐもぐ♥もぐもぐ♥ふふ幸せそうな顔♥その顔見せなさい♥

むにむに♥むにむに♥

くすっ♥

もぐもぐむにむにされても目線はしっかり私のスカートの中♥

ほんと好きね♥

私のことパンツ好き？

くすっ♥

ならいいわよ♥

もっと私のことを好きにしてあげる♥

(左手でスカートを裾をつかみあげる霧)

はい♥これが貴方の好きな霧様の今日のおパンツ♥

今日は白地に黒のレースのおパンツ♥

私のお気に入り♥だから高くつくわよ♥

(スカートを戻す)

はいおしまい♪

年がら年中少し揚げばいつでもパンツ見せてるどっかの頭日本晴れ能天気バカビッチと私と一緒にしちゃダメ♪

でもむにむにはまだしてあげるからそれで我慢♪

どうしてももう一度見たいって言うならそうね～

さっきまで能天気バカビッチとしたことを話さない♥

それ話してる間見せてあげる♪

大丈夫怒らないわ♥

単純に興味があるの♪

まあ嫌だというなら別にいいけれど...どうする？

うん♪そうこなくっちゃ♪

じゃあ恥ずかしがらずにゆっくり言ってごらんなさい

(スカートをつまみあげる)

へえ～未希の着替えに付き合っただけなんだ？

それで？

ふーん♪ブラのつけ方教わったの♪

よかったわねー♥

私に使える日は当分来なさそうだけど

でも未希にカンタンに惑わされてるようじゃまだまだよ♪

それで？その続きは？

へえ～未希の着させられちゃったんだ～♥

恥ずかしい～♥

完全に遊ばれてる

男として見られてないわね♥

でどうだった？

こーふんした？

そう♪

なら次の土曜日貴方の服買いに行こうかしら？

私と一緒になら女性向けのお店に入っていけるでしょ？

ついでだしメイクとかも私がしてあげる♪

ね？

貴方の目の前にあるようなパンツ履いておちんちん勃起させたいわよね？

その恥ずかしくてかわいい恰好して...それを私に見てもらいたいわよね？

っていうか未希に見せたなら私にも見せなさい♥

そしたらその恰好でご飯食べにいくの♪ね？いいでしょ？

どうしたの？他に予定でも？

(優しく圧力かける感じで)誰のなんの予定か知らないけど私より大事？その予定？

そうよね♥

はあい♥決定♪

っとだいぶ話が逸れたわね女の子の恰好にさせられた貴方はどうされちゃったのかしら？

ふーん未希の太ももでちんちんコキコキ♥されちゃったの～♪

貴方の好み未希にもバレバレね♪

わかるわよ♪

貴方私の脚見たさに私の正面に座ろうとするわよね？

あれ他の人にやったらダメよ♪

私だけにしなさい♪

特に黒タイツの時はさらに露骨になるから気をつけなさい♪

階段前で歩く速度落として私に先に登らせてる後ろから眺めてるの知ってるんだから♪

くすっ♪

改める必要はないわ♥

私だけになら許してあげる♥

私は歓迎よ♪

だってそれだけ私のことが好きなんでしょ♥

(スカートを元に戻し ついていた肘を戻す霧)

これでおしまいね♪ってことは貴方出したばかりってこと？

じゃあ射精はいいかしら？する？

まあさせてあげても全然かまわないけど大丈夫？だせる？そう...出したいの♪

分かったわ♪

見ててあげるからしごきいていいわよ♥

貴方が気持ちよさそうにちんちんまぬけにシコシコする姿じーっとじーっと見てあげる♥

でもただしこってるの見るのもあれね♥

(主人公の左耳付近まで前屈の姿勢となって靴下を脱ぐ霧)

んっ...♥よいっしょっと♥

(主人公の右耳付近まで前屈の姿勢となって靴下を脱ぐ霧)

こっちもっ...♥よいっしょっと♥

ほら手出しなさい♥

この靴下貴方に貸してあげる♥

どうシコシコに使っても構わないけど...

そうね一方方を鼻にこすり付けてもう片方をちんちんに被せてこすり付けるのがおすすめよ♥



まあおまかせするわ♥

私の靴下への貴方の欲情具合、私が見てあげる♥

ほう  
ほら惚けてないでしこっていいわよ♥

くすっ♥あーあ靴下コキコキ始めちゃった♥

私の靴下でちんちんこすった感触はどう？

あーあ♥口元緩めちゃって♥かわいい♥

気にしないでもっと素直になっていいのよ♥

私はただニコニコ貴方を観察するだけ♥

観察する側としては観察対象が普段見せない姿を見たいものよ♥

もっと私に見せちゃいけない姿見せてちょうだい♥

ふふ目が蕩けてるそんな顔するのね♥

生徒会長さん♥

みんなの代表も私の前だと形無し♥

私の言いなり♥

(徐々に左耳へと顔を近づけていく霧)

普段の顔も好きだけど今の顔はもっと大好き♥

私のことしか見えてないその目が好き♥

私のことしか考えてないその顔が好き♥

そう好き♥好きなの貴方のことが♥

だから貴方も私のこと好きでいてほしいの♥

そして私を貴方の一番にしてほしくて私は貴方を一番にしたいの♥

わかった？

どう？大好きな私の靴下の匂いはどっかのバカが私に肉体労働させるからいつもより汗染みてるはずよ♥

ふふ♥今のでしごく速度あげちゃうのね♥

へんたい♥

でもそんな貴方が大好きよ♥

私のことを考える貴方が大好き♥

私以外のことを考えないようにしなさい♥

その靴下を嗅ぎながら私のことをじっくり考えなさい♥

分かってると思うけどそれ朝から放課後までずっと履いていたの♥

(不意に耳元に囁く霧)

通学も授業中も休み時間もずっと一緒♥

ずっと私の靴に入って♥

ずっと私の上履きに入って♥

ずっと私の足に被さってた靴下♥

そう♥私が一日動くとこんな匂いさせちゃうの♥

貴方の大好きな霧様は普段その匂いを足から出してるの♥

幻滅した？

くすっ♥するわけないわよね♥

むしろ興奮してくれるわよね♥

だって私のことが好きなんだから♥

霧様のしてくれることと与えてくれるものは素晴らしいものって体が覚えちゃったものね♥

そういえば気づいてる？

私が今裸足ってこと♥

裸足の私も嗅いでみる？

ふふ♥よだれ垂してはしたないわよ♥

はいどうぞ♥

しゅき？

霧様の足の匂い♥

言わなくても分かるわ♥

そのちんちんの速度が答え♥

もういきそう？

いつでもいっていいわよ♥許可してあげる♥

それじゃもう一つおまけ貴方のお鼻私に差し出さない♥

(ぐぐっ)

(主人公の鼻を足でつまみながら鼻先目と目を合わせて話す霧)

貴方の鼻つかまえーた♥

つまみやすいわね♥

ふにふに♥感触もなかなかね♥

よおく嗅ぎなさい♥

霧様の匂い♥

いっぱいいっぱい深く深く鼻呼吸♥

肺いっぱい私の匂いを入れなさい♥

んっ...♥ちょっと鼻息くすぐったいわね♥

ああ♥いいの嫌いじゃないから♥

気にせずもっと続けなさい♥

ほら吸って♥扱いて♥吸って♥扱いて♥

クンクン♥シコシコ♥クンクン♥シコシコ♥

すーはー♥シコシコ♥すーはー♥シコシコ♥

イキそう？イキなさい♥私の足と靴下で♥

見届けてあげるから♥

その射精と緩み切った射精顔私に捧げなさい♥

いけ♥いきなさい♥いっちょいなさい♥

私のい・ち・ば・ん♥

(射精)

はい♥お射精♥

いっぱい出しなさい♥それが貴方の私への思いよ♥

いっぱい出してくれると私も嬉しい♥

あーあ♥

私の靴下に中だししちゃったわね♥

もう♥イケナイ子♥

この後履くつもりだったのに♥

どうしてくれるのかしらね？

貴方が私の靴下になってくれるのかしら？

なりたい？

くすっ♥

どうやってなるのよ♥

バカね♥ほんとバカ♥でもそんな貴方が大好きよ♥

ちゅっ♥(ほっぺにキス)

うーんっ♥(のびをする感じで)

いい気晴らしになったわ♪

雑用押し付けられてちょっと溜まってたから余計にすっきりしたわ♪

付き合ってくれてありがと♥

さて♪

いつもの雑務に取り掛かりたいけどその前に飲み物買いに行っていいかしら？

動きっぱなしで喉乾いたわ♥

あっ♪貴方も一緒に行く？

くすっ♥よろしい♥じゃあ貴方のおごりね♪

当たり前じゃない♪

さっきも言ったでしょ最低三回は私に尽くすこと♥

(上履きを履く霧)

分かったらさっさと一緒に行きましょ♥

(椅子から立ち上がる霧)

さぁさっさと行くわよ♥

(2人廊下へ出ようと扉へ向かう)

(引き戸を引く音)

(霧振り向き様に部屋の奥隅にある掃除用具入れに向けて声を出す)

あーそうそう忘れてたわね♪

(満足げに未希を煽り返す)私のダーリンと遊んでくれてありがとう♪みきちん♪

(閉まる引き戸)

---

## ep.4.0. Girls ReForM

---

流れ

未希、生徒会長を強引に誘う

↓

空き教室にて生徒会長の手を結び目を隠した状態でゲームをする

勝利条件:未希の唇にキスできたら勝ち

↓

当然のように負ける 未希に屈することに

↓

絶頂直前まで持っていった状態で寸止め

射精と引き換えにきりちに電話越しに未希の方が好きであることを告げてもらう

↓

未希と霧に両方から言葉責めされながら絶頂

---

## 導入部

---

放課後廊下にて

(主人公の後ろで呼びかける未希)

未⇒ほーい会長くーん♪待ってー♪未希とあそぼー♪

(無視して歩き続ける主人公)

おーいー♪聞してるー？...むー！

(我慢できず駆け寄る未希)

(後ろから抱きつき囁きかける未希)

未⇒つーかまえた♪

ひどいなーもう...

未希が待ってって言うてるじゃん♪

一般生徒の声無視するのよくないぞー♪会長君♪

やだ♪離れない♪

このまま話聞いて？

それに嫌じゃないでしょ？

未希ちゃんにぎゅってされながら囁かれるの♪

ね？これから未希と遊ぼ？

知ってる♪生徒会室に向かう途中だったんでしょ？

生徒会の仕事がついでできりちん与会うためってことも知ってる♪

更に言うならきりちんにご褒美もらいたってこともお見通し♪

今日はどんなご褒美くれるのかなー？

前が靴下だったから今日はおぱんつかな〜♥

でもお〜いくら急いで行っても意味ないんじゃないのかなぁ〜？

これなんだか分かるかな？

(右手で鍵をちらつかせる)

生徒会室の鍵♪

がら空きだったから未希がもらっちゃった♪

これないと入れないねえ〜♪

困ったね〜♪

あっ♪マスターキーとか考えたでしょ♪

(左手でポケットを漁り鍵をちらつかせる)

マスターキーはこっちなのでした〜♪

えへー♪未希賢い♪褒めてー♪

(主人公奪おうとするがすかさず上にあげて取れない位置へ動かす未希)

おおっと♪

そうはおろ屋がとんさないんだな〜これが♪

卑怯っていう？

卑怯にもなるの♪

だって君が特別だから♪

誰よりもきりちんよりも君と遊びたいの♪

未希を卑怯にさせたのならそれは君のせいだよ♪

(優しく囁く)

ねえ？気づいてる？おっぱい当たってること♪

離れようとしなくていい♪

今は君のおっぱいだよ♥

君が望むならこのブラの下も見せてあげる♥

もっと気持ちいいことだってしてあげる♥

ほらこーして未希に乳首さすられちゃうと

この前のこと思い出しちゃうね♪

つねられちゃったら女の子になっちゃうね♥

ぎゅうううううう♥

未希ならきりちんより気持ちよくしてあげられるんだよ♥

それに未希君にちょっと怒ってるんだよ？

未希とのデートの約束破ったこと♥

ちょっとくらい未希の言うこと聞いてくれてもいいんじゃないかな♪

ねっ♥

(耳を一舐め)ペロっ♥

分かったらきりちんに生徒会遅れるって連絡して♥

できるよね？

ダーリン♥

じゃあ♪スマホだして♪

(耳を一舐め)レロっ♥

アプリ開いてえ〜♪

(耳の穴を吸うように)じゅるっ♥

きりちんにメッセ送れたらあ〜♪

(耳にキス)ちゅっ♥

よくできました〜♪

じゃあしゅっぱーっ♪

---

## 本編

---

場所:使われていない教室

---

(扉を開く)

(僕と未希が来たのは机や備品が雑然と並べられた空き教室、カーテンすら外された窓からはうっすら赤みがかった光が差し込み舞い上がっているほこりを白く反射している。)

(慣れた足取りですいすい教室の中へ入っていく未希。彼女が教室の中央辺りに差し掛かると光が彼女を照らす。オレンジ色の鮮やかな髪が一層際立ち神々しさすら感じ、思わず見とれてしまう。それを  
知ってか知らずか、とにかく自分についてこない僕に、未希はフランクに話しかける。)

ほいほい♪

そんなとこで立ち止まってないで入った入った～♪

(言われるがまま未希の元へ歩く主人公)

この階空き教室だらけで人気ひとけが全くないんだよね～♪

会長くんもほとんど来たことないっしょ？

(少し前かがみになり上目づかいをして同意を求める。その仕草が可愛らしく無垢な少女そのもので心をくすぐる。神々しくなったと思えば同い年の女の子になり、すぐさま少女にもなる彼女の姿にすっかり翻弄される主人公。思えばいつもそう。彼女は風のように刻一刻と姿を変え僕の心を惑わせる。彼女のほんとの姿は一体どこなのか？どれが彼女なのか？そんな疑問さえも彼女の掴みどころのない態度によって霧消されてしまう。)

でしょ？

だからサボんのに最適なの♪

うん♪サボってね～♪

うとうとしたりい～お菓子食べたりい～ゲームしたりい～漫画読んだり♪

お昼寝したりい～♪

ほれほれ♪その辺の机の中見てみ♪

色々入ってるっしょ♪

あっ♪あとね時々奴隷君たちと遊んだりご褒美あげたりするんだよ♪

そう♪未希の言うことは何でも聞いちゃう未希のことが大好きな奴隷くん♪

たとえば未希がお手♪って言ったらお手しておかわりして三回回ってちんちんまでした未仰向けになってお腹を差し出してくれるんだよ♪

未希そこまで頼んでないのにね♪

未希に構ってもらいたい一心で健気だよね～♪

でも君はそんな奴隷くんたちとはちょっと違う♪

今の未希にとってなくてはならないの♪

だから特別なことしてあげる♥

(と言いながら彼女は無邪気な顔をした。この前の二人きりの生徒会室で質問攻めにあったときも、突然着替えを申し込んできたときもこの顔をしていた。いいことを思いついたときやそれを実行に移すとき、きまって彼女はその屈託のない自信で満ち溢れたいたずらっこの顔を僕に見せる。ああ...またか...。この顔を見た瞬間、廊下からであった時から持ち合わせて先ほどまでじりじり摩耗させていた彼女への戦意や反抗心といったものがすっかり消え失せ、代わりに彼女の考えついた特別なことへ興味が注がれた。)

目つぶって♪いいから早く♪

(言われるがまま言いなりになる。僕は抗えるはずなのに彼女の言葉に従う。)

うん♪そしたら手を前に出して♥ううん両手♥

(言われた通り両手を出すと、彼女は両手首を掴みくっつけて布のようなもので巻き付け始める。)

ここをこーしてぎゅっとして〜♪

(さすがに突然のことに驚き腕をぶんぶん振り回し、振りほどこうともがいてみる。)

はーい♪暴れなーい♪

(彼女は子供に服を着せる母親のごとき慈愛と余裕を織り交ぜた口調で諭す。僕はその言葉で一瞬赤子のように甘えたいという衝動に駆られ力が抜ける。それを待ってたといわんばかりにそそくさと結びを再開、あっと言う間に結び終える。)

はい♪できあがり♪君の手縛らせていただきましたー♪

そしてこのアイマスクを装着しまして♪

はい準備完了♪目と手の自由未希がもううね♪

(わけもわからず目と手の自由を奪われ動転した僕は彼女の不信や不明瞭な意図に対して「これは？」と口に表すのが関の山であった。)

特別♪未希と特別なゲームをするための準備♪

それに勝てたら君に未希の全部見せてあげるし未希を君の好きなこととしてあげる♪

(突如左耳から話しかけられ身がよじれる。)

いっぱいべろちゅーして種付けプレスして未希のこと孕ませてもいいよ♥

未希にしてほしいことがあったら何でもしちゃう♥土下座でも君の足を舐めるでも恥ずかしい恰好させるのも未希にできることなら何でも♥

未希の一番が君になるの♥

いいでしょ♪

(と彼女は絶対にそんなことにはならないという言わんばかりの余裕に満ち溢れた軽い口調で話を続ける。)

ね？気になるゲームのルールはカンタン♪

その状態のまま未希の唇にキスできたら君の勝ち♪

でもキスできないまま君が無理だと感じてまいりましたって未希に言ったら君の負け

ね♪いいでしょ？

(ルールはカンタン、キスをするだけ、確かにそれだけなのだが彼女の自信のせいか、目と手の自由を奪われこちらの自信が削がれているためか何かは分からないが僕の中にまるっきり勝機が見いだせなかった。だがこの状況でそれを見せてはいけない見せれば彼女にどうされるか分かったものではないからだ。そこで申し訳程度の抵抗も兼ねて負けた場合を彼女に尋ねてみた。)

ん？君が負けたら？

うーんそうだなー

未希何でもいいんだけどなー

じゃあ未希にジュースおごるでいいよ？

うん♪それでいい♪

(なんだそれだけか...思わず力が抜ける。)

罰が軽いつて思った？



だから言ったでしょ？

それは君が特別だから♪

奴隷君たちだったら同じゲームするにしたってこうはいかない♪

そもそもこんなゲームさせてあげないって♪

ね♪いいでしょ？

(特別...ほんとにそれだけなのか...。なぜ彼女はここまで僕にこだわるのか？悪い気はしないが理解ができなかった。それだけのためにわざわざ僕を引っ張りだし、彼女は自分を差し出してゲームをしようとする...しかも僕が負けたときの罰が軽量すぎて当人ですら申し訳なさを感じる。その一方でこちらの勝気のなさを最初から見透かして、「負けていいよ♪」と彼女が囁いているようにも感じる。そうだ。彼女からは自信しか感じられない負ける気は一切感じられない。しかしなぜ彼女が僕に勝ちたいのかに考えを向けるとさっぱりわからない。勝ってもジュース一本で良いという言うのだから何を考えてるのか分からない。ほんとに僕と遊びただけなのではないか？からかっているのではないか？それだったらそれでいいのだろう。とにかく今は考えるだけ無駄だ。この自由を奪われた僕に与えられた選択肢は一つしかない。このゲームにのっかるほかなかった。)

(※主人公の内面描写ここまで)

じゃあ準備はいい？

未希はいつでもいいよ♥

ふっふーん♪それじゃ目隠しキスゲームスタート♥

(間が空く)

(右耳を舐める)ペロっ♥こっちだよ♪

おっと♪もうそこじゃないよ♪

(声を頼りに近づく主人公)

こっち♥そう♥あと少し♥

なーんて♪こっちがお留守だぞ♥

(左耳にキス)チュッ♥

近くにいるはずなのに全然未希のこと捕まえられないね〜♪もしかして未希とキスしたくないのかな〜♥それってショック〜♪

じゃあ未希にキスしてみてよ♪ちゅうううう♥って♥

(左耳を一なめ)ペロッ♥

もう〜♥感じてないでえ〜♥早く未希のこと捕まえてよ〜♥

(遠ざかる未希、しゃがみ込み野良の猫や犬を呼び込むかのように)

ほーら♪鬼さんこちら手のなる方へ〜♪(軽く拍手)

(声のする方へ徐々に近づく主人公)

そう♪こっちだよ♪君の大好きな未希ちゃんはこちらだよ〜♪

頑張って歩こうね♪

怖かったらハイハイしてもいいんだよ♥

未希以外見てないんだし♪

そうそう♪膝からついて四つん這いになって♪  
はいはい♪よちよち♪未希に近づきたくて必死だ♪  
あっそこ♪左に机にあるから気をつけてね♪  
よちよち♪よちよち♪その調子その調子〜♪  
未希ちゃんとチューしたいもんね〜♪  
そうそうこっちだよ〜♥  
だいぶ近くなってきたね〜♥  
じゃあ会長くん両手手前に出してみて♥  
もっと上に地面と水平に♪  
ああん♥そこ未希のおっぱいー♥揉んじゃダメえ〜♥  
なあんて♪未希がそんな処女みたいな反応と思った？  
いいよ♪手引っ込めなくて♪  
揉みたかったらどうぞ♪  
その手で未希ちゃんのおっぱいっぱいもみもみして♪  
もみもみ♥もみもみ♥  
未希のおっぱい気持ちいい？  
もっと手でこねこね好きにしていいいんだよ♥  
ちなみにそのまま顔前に倒すとお未希のおっぱいを枕できちゃんだよ♥  
もっと前に倒して♪そうもっと♪  
(おっぱいに顔が当たる)  
ぱふぱふ♥ぱふぱふ♥  
未希のおっぱい柔らかくていい匂いするっしょ♪  
もっと未希に体預けて♥  
君の全部おっぱいで受け止めてあげる♥  
ぱふぱふ♥ぱふぱふ♥  
ねえ？キスなくていいの？未希がこんなに近くにいるんだよ♥  
(耳にキス)ちゅっ♥  
ざんねーん〜♪遠ざかっちゃいましたあ〜♥  
悔しかったらおっぱいから顔離して近づこうね〜♥  
あーでもでもー♥未希ちゃんのおっぱい枕むにむに♥  
ぱふぱふ♥離れたくないねー♥ずっとこーしてたいねー♥  
いいよー君の好きにして♥  
キスより未希のおっぱいの方が大事だもんね〜♥  
それにこんなに近いんだから未希にキスなんていつでもできるもんねー♥

ちょっーと未希の声のする方へ顔近づけて唇に触れるだけだもんねえ〜♥

未希もうどこにも逃げないよ♪

それだったらこのまま未希のおっぱい堪能しても罰は当たらないよねー♥

ねえ〜？

お返事は？

おっぱいに埋もれて聴こえないぞ〜♥

ばふばふ♥ぱふぱふ♥

お返事は？♥

(胸に埋もれながらふがふが返事を返す主人公)

やーん♥

おっぱいの中でお返事くすぐったいー♥

それじゃちょっと右耳こっちに向けてくれるかな〜♥会長ちゃん♥

会長ちゃんの耳いただきまゐす♥

(舐めながら)どう？未希のお耳なめなめ気持ちいい？♥

おっぱいとどっちが気持ちいい？♥

そうだよね〜♥決められないよね〜♥

決められなくていいんじゃないかなあ〜♥

悩む必要なんかないよ♥

どっちも気持ちいいってことで♥

だってどっちも未希がしてくれることだもん♥

ね？♥左もしてあげる♥ほら♥左耳未希に向けて？♥

ふふいまこーしてるあいだも未希の唇がこんなに近いのに

お耳ペロペロされて未希のおっぱいで大人しくおねんね♥

いい子いい子♥

未希の言うこと聞くの心地いいよね？♥

(ここまで舐めながら)

でも不思議だねえ〜♥

何がって？

普通目が見なかったら不安になるよね♥

手が使えなかったら不便なはずだよ？

でも今の君はそんなこと感じてる？♥

感じてないよね？

むしろ心地いいよね？

幸せだよ？

なんでだと思う？

それはね♥

未希に委ねてるから♥

自由を差し出してその自由を未希に好き勝手使ってもらってるからだよ♥

だから君は未希に命令されると嬉しくなっちゃう♥

もっと言うと未希に褒められたりご褒美もらうと大好きが止まらなくなっちゃう♥

褒められたときを思い返すだけでにやけちゃって幸せになっちゃう♥

するともっと未希の喜ぶ顔が見たくなる♥

だから未希のために君は更に自分を差し出して未希は更に君をこき使う♥

それで君はもっと未希が好きになって未希のことがこの世で一番好きになる♥

君このゲーム始める前からうすうす分かってたよね？

未希に勝てないこと♥

じゃあなんで君はこのこのご連れてこられてこのゲームやったんだろうね？♪答え言ってあげよっか♪

そ・れ・は...

未希に負けたいから♥

未希に命令されたいから♥

未希に弄ばれたいから♥

未希に支配されたいから♥

勝つことなんか最初からどうでもよかったんだよね♥

未希を負かして言いなりにしたいなんてこれっぽちも思っていない♥

それより未希に負けなかった♥

でも負けてジュースを未希におごるためじゃない♥

ただ未希に振り回されてめちゃくちゃにされて負けて惨めな姿を未希に見られたかった♥

そしてそれを楽しんでる未希が見たかった♥

そうだよね？♥

うんうん♪そうだよね♪全部知ってたよ♥なぜって？

だって君♥

マゾ♥だもんね♥

しかもどうしようもないくらいに♥

マゾ♥マゾ♥マゾ♥♥♥

ね？だからもうこんなゲーム意味ないね♥

こんな簡単なゲームでも君勝てっこないんだもん♥

何回やろうが結果は同じ♥

未希の勝ちはずっと決まっていたの♥

ってことでこれ以上は時間の無駄だし〜♥

未希♥そろそろ君の口から敗北宣言聞きたいなあ〜♥

(以下三行 特に見下してバカにするように)未希様ー♥僕の負けでーす♥

未希様に勝てるわけがありませんでしたー♥

未希様の好きなように僕をお使いくださいー♥ぶひい〜♥ってな感じで♪

言ってくれたら君のお望み通り君を弄んであ・げ・る♥

ね？これくらい余裕で言えるよねー？♥

未希の下僕さん♥

はい♥どーぞ♥

よく言えました♥

顔上げて♪

ちゅっ♥(唇にキス)

ご褒美のキスだよ♥やっとなできたね♥

もっとしたい？じゃあしよっか♪舌出して♪

うん♪未希はここだよ♥

んー♥やっぱこっち♥

ちゅっ♥(左耳にキス)

やーい♪ひっかかったー♪

君はもう未希のもの♥

未希これから君のこと一杯振り回すけどちゃんとしてきてね♥

下僕くん♥

お返事♥

うーん♥かわいい♥かわいい♥じゃあ寝っ転がろうか♥

未希今かわいいワンちゃんにシコシコお射精させたい気分なの♥

地面に背中つけてー♥

うんうん♪無防備な状態の上に目隠し♥未希のやりたい放題だ♥

にゃーん♥

びっくりした？

いつ未希がどこからくるかもわからないね♥

たとえ分かっても手がそれじゃてーこうできない♥

だからこーして勝手にズボン脱がされても君は何もできない♥

(未希遠のき主人公のベルトを外す)

未希のおもちゃ♥

今君にできるのは未希に遊ばれながら射精することだけ♥

それだけ考えればいいんだよ♥

(主人公に覆いかぶさるようにのしかかる未希)

よいつしょっと♥

どう？未希重くない？♥

重かったらそれは未希のおっぱいの分ってことで♥

ほらー♥

もっとちゃんとお腹に力入れないと未希に押しつぶされちゃうぞ♥

こーして上に乗っかれば♥

右も

左も

正面もちんちんも未希の支配下♪密着状態♥幸せだねえ〜♥

ちんちんも幸せで大きくなってるね♥

いつからこんなに大きくしてたのかなあ〜♥

ゲーム始める前からとかじゃないよね〜♥

だとしたらあ〜♥

立派な負けたがり屋さんの♥

マゾマゾおちんちんだね♥

それじゃこの未希に負けたくて必死のマゾちんちん未希の好きにさせてもらうね♥

しーこ♥しーこ♥

確か最初は空気でシコシコ♥

その次は太ももでシコシコ♥

だからやっとう未希にちんちん触ってもらえたね♥

未希の手柔らかい？♥

すべすべ？

君の手ですのと全然違うでしょ♥

しーこ♥しーこ♥

未希ね〜♥基本はなんでも早い方が好きだけど♥

でもだからってゆっくりが嫌いってわけじゃないんだよ♥

とにかく未希に振り回されてる姿を見るのが好きなの♥

ゆっくりだとそれだけでみんな可愛い顔してくれるの♥

もっと早くしてえ〜♥

我慢できないよ〜♥って顔で訴えてくる♥

目隠してても分かるよ♥

口が半開きになって呼吸が浅くなってる♥

ストレスから少しだけ筋肉がこわばってる♥

でもあんまり固くしちゃダメ♥

未希がほぐしてあげる♥

そうそう♪もっと未希に委ねて♥未希に全部任せて♥いいでしょ？いいよね♥

シーコ♥シーコ♥

シーコ♥シーコ♥シーコ♥シーコ♥

早くしたいかな？したいよね〜♥

でもねえ〜♥

それ決めるの未希なんだ〜♥

君にその権利はないの♥

未希が楽しむためことが最優先事項♥

君のちんちんは二の次の二の次の二の次くらい♥

そして未希は君がそうして物欲しそうな顔するほどいじわるしたくなっちゃうの♥

だからこの速度♥

シーコ♥シーコ♥

左だとおもったでしょ？もう素直でかわいいなあ〜♥

うん満足した♪

ちょっと早くしたげる♥

シコシコシコシコ♥シコシコシコシコ♥<

どうかな？こんなもん？

ってwまあw決めるの未希なんだけどね♥

だからこーして♥

シコシコシコシコシコ♥

ってしてもいいの♥

どっちにしよっかなあ〜♥未希まよっちゃうなー♥

君はどっちがいい？

うん♥そっか♥

じゃあ最高速にけってーい♥

シコシコシコシコシコシコ♥♥

あはははwwwびくんびくんしてるwwwおもしろーいwww

君の意思なんて未希きかなーい♪

未希の意思が君の意思なの♥

でしょ？♥

だからこのまま気持ちよくなってね♪

シコシコシコシコシコシコ♥

もういっちゃいそう？いっちゃう？びゅうう♥♥びゅうう♥♥♥ってしたい？

したいよねえ〜♥だからこそー♥させない♥

シコシコストップ♥

そしてえ〜未希のシュシュでちんちんロックするね♥

ちんちんもっとかわいくなっちゃったねえ〜♥

シコシコやめてもお耳はナメナメ♥

なんでシコシコやめたか分かる？

ちゅっぱ♥

未希の気まぐれ？

うーん♪10点中2点♪赤点追試♪

(舐めながら)なんでか分かった？♥うーん♥

ちゅっぱ♥

しょうがないなあ〜♥特別だから教えてあげる♥

正解はね...

君がまだ未希のものじゃないから♥

ほら？もう一人いたよね？

君の飼い主♥

もしかして今まで忘れてた？

かわいそうに一♥

でもね？今びゅーびゅーしてさよならして彼女に会ったら

君は再び彼女のものになる未希には分かるの♥

だからダメ♥君は今日以降未希のものになるの♥

無駄な上書きなんてさせない♥

消えないように刻みこんであげるの♥

それまで射精させない♥

ねえ？未希のものになる？

ちゅっぱ♥

ほんと？

未希のものになるってことは未希を一番に考えるってことだよ？♥

彼女に顔合わせて誘惑されても未希のことを考えてるってことだよ？♥

できる？♥

ふーんできるんだ♥

じゃあそれ本人にも言えるよね♥



ん？ちょっと表情変わったね？どうしたのかな？♥

できるよね？♥うん♥いいこいいこ♥

ちゃんと未希の言う通り実行してくれる子未希だーい好き♥

んじゃちょい待ち〜♥

(スマホを出して霧の連絡先を探す未希)

きりちんきりちーん♪きりちんどこかなー♪

(以下きりちんと電話)

きりちんやつほ♪あー切ろうとしないでえ〜♪

用事？きりちんのことだからだいたいわかってるでしょ？

まあ詳しくは本人から♪ほい電話♪

(未希スマホを主人公の左耳に近づける)

霧⇒はぁ...もしもし貴方なの？

ふう...言わなくても分かるわ

また未希に誑かされたのね...

いいの...未希のことだからあれでめげるとは思ってたから...でどう？

楽しかった？

未希とのお遊び♪

そう♪じゃあ私のとに戻ってっらしい♥

まだ私は貴方を信じてる♥言ったでしょ？

私が貴方の一番であるならそれでいいって♥

その思いがあるならいつまでも何度だって貴方を信じ待ち続けてあげる...ね？

だから私のとに戻ってきなさい♥

また上書いてあげる♥

未⇒だあめ♥させない♥

刻み込ませる♥言って♥

未希様が一番です♥って？♥

言ったらすっごく気持ちいいよ♥

霧⇒きいてる？私が一番よね♥

未⇒未希が一番♥

霧⇒わたし

未⇒みーき♥

霧⇒貴方は私のもの

未⇒君は未希のもの♥

霧⇒私は貴方を離さない

未⇒もう未希から離れられない♥

霧⇒いつまでも待ってる

未⇒待つだけ無駄♪

霧⇒聞かせてちょうだい

未⇒君なら言えるよ♥

霧⇒貴方は誰もの？

↑↓(同時に)

未⇒君は未希のもの♥

霧・未⇒どっち？

(しばし沈黙)

(絞りだす声で未希と答える主人公)

未⇒やったー♥♥好き♥大好き♥愛してる♥ちゅっしょ♥ちゅっ♥よく言えました♥ちゅっ♥もう一回♥ちゅっ♥きりちん聞いてた？

(露骨にトーンダウンする霧)

霧⇒はあああ...聞いてたわよ...また負けた...今回はいけると思ったのに...

未⇒いやーまだまだですなあ〜きりちん♪

未希に勝つよりシーラカンスの進化の方が先に見れそうですなー♪

(煽られ感情を露わにする霧)

霧⇒んー！むーかーつーくー！どいつもこいつも未希ばかり！ほんっと軟弱！ゴミばっか！

未⇒きりちんいきなり罵倒浴びせると**未希**の下僕くんがびっくりするからやめてよー♪

霧⇒さっきまで私のだったのにー！あーもう腹立たしい！貴方マゾの癖に我慢できないのおかしくな  
いかしら？

未⇒男の子は女の子に抗えない上にお射精にも勝てないよわよわな生き物なんだよねー♪下僕くん♪

霧⇒射精の一回くらい何よ我慢なさいよ！

ほんっと情けない！！

未⇒きりちんおさえてー♪おさえてー♪

そんなにイライラするなら未希と一緒に下僕くんのお射精のお手伝いしよ？すっきりするよ♪

霧⇒いや！

なんでこんなみっともないマゾの射精手伝わなきゃいけないの！

未⇒未希の下僕くんを悦ばすため♥

霧⇒なおさら嫌！もう私のじゃない下僕とか目障りでしかないわ...ほんっと不快...不潔...ふしだら...不愉快

未⇒そうやって詰ってるだけで下僕くんきもちいいみたいだからそのままのきりちんでどうぞー♪

霧⇒きもっ...勝手にしなさいよ...

未⇒それじゃきりちんに罵倒されつつ未希にはシコシコされて情けなーい射精しちゃおうね♥

シコシコシコシコ♥シコシコシコシコ♥

霧⇒声...漏れてる...きもっ...

はぁ...未希の手そんなに気持ちいい？

くすっw気持ちいいに決まってるわよねw

私を裏切ってしてもらってるものねw

未⇒いやー負け犬の遠吠え聞くのは気持ちいいですなー♥

霧⇒はぁっ！？

未⇒はーいシコシコシコ〜♥

下僕くんのおかげだよー♥

君が未希に負けてくれたからきりちんに勝てたのー♪

未希の誘惑にメロメロなマゾさんでいてくれてありがと♥

霧⇒ちっ...ほんと不快...よっわいマゾな上に軽薄ってどんだけ私に軽蔑されたいのかしら？w

そんなに私に嫌われたいのかしら？

はぁw好き！？wあっははははwww

どれだけ私をコケにする気かしらこのバカwww

だいきらい！貴方なんてだいきらい！！

未⇒きりちんこわーい♪

こわいねー♪下僕くん♪

よしよし♥下僕くんは悪くないよー♥

しょうがないじゃん♪

ほかの女の子ならまだしもー♪

未希には勝てないもんねー♥

下僕くん？

いいお返事♥

大好きな未希のシコシコで嫌なこと全部忘れちゃおうねー♥

霧⇒一度二度負けるのは織り込み済みとして許してあげたのにすぐこのざまw

未希に簡単に手懷けられてちんちんシコシコされて悦ぶ尻軽のバカマゾw

ねえ？未希の下僕の生徒会長さん？

貴方明日から生徒会室でどんな顔して私に接してくれるのかしら？w楽しみだわー♥

未⇒そりゃもう負けたがり屋さんの下僕くんはきりちんのゴミを見る目にご褒美だからはぁはぁしちゃうよねー♪

霧⇒ほんとに心底気持ち悪いからやらないでくれるかしら♥

やったら蹴るから♥

未⇒きりちんに虐められたら未希に言うんだよ♥

未希がよしよししてあげる♥

ね？こわーいきりちんより未希選んでよかったでしょ？

未希負けてよかったねー♪未希のものになれてよかったね♥

霧⇒はぁぁ...もう...貴方が負けるから今私すっごいイライラしてるんだけど責任とってほしいんだけど？

あっそうだ♥部費の振り分けしてるわよね？

あれちょうまかして私にちょうだい♥

じゃないと貴方のマゾ性癖と今回の浮気全部ばらすわよ♥

未⇒あー♥未希も欲しいー♥

ねえ会長くん♥できるよねー♥

シコシコやめちゃうよー♥

霧⇒感謝料♥ちょうだい♥

未⇒ちょうだい♥

霧・未⇒ありがと♥

霧⇒じゃそろそろイってくれないかしら？

貴方の感じてるキモい声をスマホ越しで聞かされる私の気持ち考えられないおバカさんなのかしら？

未⇒言われなくてももういくよねー♥

だってずっと我慢してたもんね♥

って...あっ♪ちんちんのシュシュとり忘れてたー♥

てへっ☆

霧⇒ちんちんにお飾りつけてたんだぁ〜♥

ちんちんはづかちい〜♥w

未⇒さあ取ってあげたよー♥

いつでもいけるね♥

未希のおててに負けちゃおうねー♥

会長くん♥

霧⇒さっさとイきなさい雑魚マゾ♥

私を裏切って♥

未⇒未希に尽くす下僕さん♥

これは命令♥

霧⇒二人の命令♥

無様にイきなさい♥

未⇒好きにイっていいよ♥

未・霧⇒ま・け・い・ぬ♥

(射精)

未⇒あーあ♥出ちゃってるよー♥情けない敗北射精♥

きもちいいねー♥

もっと出していいよ♥嬉しい？

未希も勝てて嬉しいよ♥

気分いいからサービスしちゃう♥

霧⇒あーら♥無駄な精子ぴゅっぴゅっ♥

あーあ♥ほんっとなっさけない声♥

聞かされてる私は気持ち悪くて仕方ないわ♥

裏切った元カノにこんなの聞かせるなんて

ほんっとサイッテー♥

未⇒気持ちいいのには勝てないよねー♥

君は悪くないよ♥悪いとしたら君がマゾってこと♥

霧⇒マゾな上にすぐ乗り替えるビッチってところも追加で♥

未⇒二つ合わせてマゾビッチだ♥やーいマゾビッチ♥

霧⇒マゾビッチ♥ビッチに負けるマゾビッチ♥

未・霧⇒よっわい♥よっわい♥マゾビッチ♥

未⇒だーい好き♥ちゅっ♥

↑↓(同時)

霧⇒だいきらい♥死ね♥

未⇒ってかきりちんさりげに未希のことディスったしょ？

霧⇒褒めたわよ

こんな男でさえ手籠めにするなんてなんとまあ慈愛に満ちたビッチ様なのかと感動すら覚えるわね♥

未⇒その男を彼氏くんにしてた女の子はどこの誰でしたかなー？

霧⇒やすいパンツにはやすい男がお似合いよ私には合わないの♥

未⇒やすすくない！！結構高いの履いてるもん！！

霧⇒履いてる本人が安い♥

未⇒お高く止まりすぎて見向きされないよりましで一す♥

霧⇒言いたいことはそれだけかしら？

切るわよ？100均女

未⇒その100均女に負けちゃうなんて悔しいねー♥

でもだからってまだ切っちゃダメだよー♪

きりちん♪

霧⇒は？なによ？まだ私をイラつかせたいの？

未⇒うん♪

霧⇒切る

未⇒じょーだん♪冗談だって♪未希ときりちんのこと下僕くんにごちょっとお話しあげたいなーって思  
って♪

霧⇒なんで？こいつに？

未⇒特別賞ってことで♪

霧⇒未希が一人でやればいいじゃない

未⇒んじゃきりちんは未来人の渡来人の地球外生命体の宇宙警備隊隊長って設定にするけどそれでい  
い？

霧⇒はあ...わかったわよ...

未⇒やったー♪んじゃ下僕君♪未希たち待ってるから落ち着いたら教えてね♪

---

ここから別トラック

## epilogue .ReStart!

---

流れ

霧の目的となぜそんなことになったのかネタバラシ

---

未⇒落ち着いた？下僕くん？じゃあ始めるよ解説タイム♪

霧⇒じゃあ未希解説♪

未⇒任された♪

きりちんってきれいでスタイルよくて運動できて頭もいいコミュカもある上に気配りもできて傍から  
見たら隙ないよね？

うんうん♪でねーこれがきりちんのいいとこで悪いとこなのですよ♪

カンタンに言うと相手にもそれを求めちゃうの♪

スペックじゃなくてどんなことがあっても自分を最も愛すことのできる隙のない人をね♪

霧⇒正確にはそういう私にとって完璧な人と人を完璧に育てていくことが大好きなの♥

未⇒変わってるよね〜♪

霧⇒貴方には言われたくないわ

未⇒未希はただのめんどくさがりやなので♪

霧⇒人のアイデンティティ蹂躪して悦ぶ変態のくせに

未⇒未希に一番を奪われるとみんないい顔するんですよ♪これが♪って未希じゃなくて今はきりちんの  
話♪きりちん続き♪

霧⇒続き？

未⇒未希とのなれそめとか？

霧⇒キモい

未⇒ひどい；；

じゃあ変になったきっかけ♪

霧⇒じゃあにつながってないわよそれに变いうな

未⇒いいからいいから♪

霧⇒ってなんで話さなきゃ...

未⇒罰ゲーム♪未希勝者♪きりちん敗者♪

霧⇒はああああ...もうサイアク...はあ...きっかけは父のせい...

ある日あの人が偶然自慰行為してるところに出くわしてね手伝ってあげたの♥

それまで強く優しく尊敬してたあの人がいとも簡単に快楽に貪りそのために私に依存する姿たまらなかったわ♥

それからというものは色々試行錯誤しつつもあの人を徐々に私のものにしていった

あの人もうずうず私への依存を高めて段々私以外のことを考えられなくなってついにはあの女と離婚してくれたの♥

あの時は支配欲と充足感でさいっこうに幸せだったわ♥

だって私のためにそこまでしてくれたんですもの♥

そういうこともあってあの人とは別で血のつながりのない赤の他人であの人に並ぶ存在が欲しいって思ったの♥

最初は順調だったんだけど...

未⇒未希がいた♥だよな？

霧⇒そうこの泥棒猫が次から次へと人が手塩をかけて育てたものを奪っていくの

一番を作る私と一番を奪う未希。傍から見れば最悪...

最初はこの害獣をどう駆除するかそれだけずっと考えてたわ

未⇒お命だけのご勘弁を～

霧⇒でもふと思ったの...私のものになるなら未希くらい乗り越えてもらわないと困るってことに

未希を除去して一番にするのはゴールじゃない

私の目的にもっとも必要でもっとも邪魔な壁が貴方の目の前にいるその女よ

未⇒いやー照れますなー♪

霧⇒未希いちいちいつかせないでくれるかしら？

未⇒怒られちった♪

霧⇒それから未希のことを少しずつ認めるようになったの♪

その時から私は未希の略奪を本気では止めなくなった

そして同時に私は私で未希の誘惑に負けない人間を育むことに専念した

未⇒そして未希はそれを美味しくいただくと♥

つまりきりちんにとって未希は素敵滅法好敵手すてきめっぼうすきてきしゅってことだね♪

霧⇒好敵手でしょ？それに素敵というより宿敵こうてきしゅ♥

(言いかけるところを横取りされる)めっ...

未⇒滅法というより因縁♪だよな？

霧⇒そう♪わかってるじゃない♪

未⇒当然♪

霧⇒今に見てなさいその余裕の声をむせび泣きに変えてあげるから♥

未⇒再戦いつでもお待ちしてまーす♪

って...あっ♪すっかり蚊帳の外にしちゃってごめんね♥

君のおかげで未希はきりちに勝てたよ♥ありがとね♥

霧⇒貴方のせいで私は負けたんだけどね

明日以降も一応みんなの前では生徒会長として扱ってあげるけど

それ以外のときは覚悟なさい♥

ストレスのはけ口くらいには使ってあげるわ♥

未⇒未希の下僕の一員として頑張ってる♥

ん？特別？

あーもしかして未希が君のこと特別っていうから他の下僕と違って特別扱いしてくれるって思ってたとか？

おもしろい冗談だねー♥

今までの話を整理したうえで下僕くんの立場を要約してあげると君は綱引きの綱♪

綱がなかったら綱引きできないよね？

未希がきりちに勝つには君という綱が必要だった♥

だから特別♥

きりちんのものじゃなくなった君はもう特別でも綱でもなく未希の下僕になっちゃったのでしたー♥ざんねーん♥

霧⇒憐れね未希がそんな簡単に特別扱いするわけじゃない

未⇒さっすがきりちんわかってるー♪

未希は未希が一番だからね♥

霧⇒その自信絶対にへし折ってバレーンアートにして飾ってあげる♥

未⇒未希もきりちんのそのやる気粉々にしてサンドアートにして個展開いたげる♥

霧・未⇒ベーーっだ♥

霧⇒それじゃあ未希それとマゾビッチの会長さん♥また明日♥

未⇒じゃあね〜きりちん♪

(通話終了)

さてさてーだーいぶ長くなっちゃたね〜

手きつかったよね〜ごめんね♥

いまとってあげるから♥

(手首の縛りを解く未希)

ほい♪とれたよ♪



そしたら目隠しとれるよね？

(目隠しを取る主人公)

まぶしい？ふふ♪

やっと未希の姿みれたね♥

久々にみた未希はどう？

かわいい？♥

だよね〜♥

好き？♥

どれくらい？♥

だよね〜一番だよね〜♥

うんうんだいぶわかってきたね〜♥

優秀♥優秀♥

ちゅっ♥(唇にキス)

ふっふーん♪これは特別♪

明日から頑張ってね♥会長くん♥

---

## おまけ きり○んぼ

---

流れ

前提:未希に勝ち霧の忠実な僕となった主人公は貞操帯をつけられ管理されている

↓

土曜日の昼下がり生徒会室にて霧と二人で雑務に励むも我慢の限界

↓

貞操帯を取る代わりに人気のない校内をリードでつながれ裸でお散歩することに

↓

お散歩でついた先は未希の教室

未希の今までの仕返しを兼ねて未希の体操着を使ってオナニーをさせる

↓

いっぱい精液がかかった体操着を未希の机に戻して終了

---

場所:生徒会室

(黙々と書類作業する音)

(既に霧のものになった主人公は霧の言いなりとして指示されたものを指パッチンの回数に応じて準備するように躡けられてる ※指パッチン1回⇒ブラック 指パッチン2回⇒紅茶 指パッチン3回⇒緑茶)

(指パッチン二回)

(黙々と作業を続ける主人公)

(再度 指パッチン 二回)

(指パッチンに気づき 立ち上がりコーヒーの用意しようとする)

(それに気づき後ろから声をかける霧)

違う

コーヒーじゃない...それは一回でしょ？

二回は紅茶♪

(席を立ちあがり主人公に近づく)

どうしたの？

最初のパッチンも聞き流して上の空♪

集中できてないわね？

私貴方の主人なんだけど？

どうしたのかしら？

妙に動きが落ち着かないしどうしたのかしら？

言いたいことがあるなら言ってみなさい？

(股間を蠢かしながら 恐る恐る貞操帯ち答える主人公)

(後ろからのぞき込むように)

んー？

あーwそれw貞操帯w取ってほしいの？w

もう何日目だったかしら？

一週間と三日

合わせて10日私にお射精の権利をはく奪されてるのね♥

10日間触れないだけで私に権利を返してほしいとせがむ♥

おちんぼお触りが今の貴方の一番になってる♥

私を差し置いて♥

癢だわ♥気に入らない♥

貞操帯をつけてる意味♥

男のシンボルのおちんぼの自由を私に授けてるその意味♥

分かってるかしら？

私は三つの意味を込めてるつもりよ♥

一つ、霧様に逆らいません♥逆らえません♥という私への服従♥

二つ、僕は自分で自分を制御できないダメちんぽです♥霧様に支配してもらうのが一番です♥という私の優位♥

三つ、よそ見しません♥霧様が僕の全てです♥という私の独占♥

今の貴方の行為は服従の不完全さの現れであり私の優位の説得力を高め独占の必要性を再認識させるものだと思うの♥

つまりまだまだ調教不足ってこと♥

そんなんじゃいつまた末希に屈しそうになるか分かったものじゃないわね♥

貴方は休日で二人きりの生徒会室でなら私が貞操帯外してくれると期待して雑務してたのでしょうけど甘いわね♥

もっと私中心に考えなさい♥

自分の欲を私の欲にきなさい♥

私を満たすことで貴方が満たされる♥

私を満たさなきゃ貴方は満たされない♥

分かったかしら？会長♥

(深く何度もうなずき反省を見せる主人公、それを見て満足そうに近くの椅子に足を組んで座る霧。背中からのプレッシャーから解放された主人公は霧のご機嫌が気になりゆっくり振りむく)

くすっ♥さーて♥反省したところでどうしてあげましょうかしらね♥

実は考えてたわけじゃないの♥

貴方のちんぽを自由を与えること♥

今日の雑務が終わったら指示してあげようかと思ったけど昼間のうちの方が面白そうね♥

何よりずっとこの部屋にいて退屈だったし...いいわ♥

貴方の進言聞き入れてあげる♪

でも毎回聞き入れると思ったら大間違いよ♪

あくまで私の気分と利益が最優先♪

分かったかしら？

うん♪よろしい♪

(椅子から立ち上がり接近する霧)

じゃあお散歩行くわよ♥

ふふ♥実はね今日こんなのもってきたの♥

そう♪く・び・わ♥んでこっちがリード♥

ね？**お散歩**に行きましょう♥

いいでしょ？貴方が言い出したのよ？

ってことで♥

服を脱ぎなさい♥ワンちゃん♥

私の...貴方の霧様の言うこと聞けないのかしら？

ぬ・ぎ・な・さ・い♥

上も下も全部♥

(急いで脱ぎ始める主人公)

下着も♥げんぶ♥ちんちんもお尻の穴も私に見せるの♥

私のためにそれくらい悦んでやってくれるわよね♥

私に全裸見てもらえるなんてよかったわねー♥

よく脱げました♪

ふふ♥乳首私に見られちゃって♥恥ずかしいわね♥

ふ—————っ♥

ちんちん痛い？

勃起おあずけされるだけでこんなに不自由になっちゃうのね♥

かわいそうだけどかわいい♥

とってほしい？

じゃーっただけ私からの命令♥

私がいいって言うまでちんちん触らないこと♥

破ったらもう最低一週間追加するから♥

できる？

ほんと？

じゃあ外してあげる♥

(しゃがみ込み貞操帯を外し始める霧)

くすっ♥10日ならこんなものね♥

後で手入れもしないとね♥

(立ち上がる霧)

さてお次は首輪ね♥

顎あげなさい♥

ほら動かないで♥

いい子にできるでしょ？

ワンちゃんなんだから♥

苦しくない？

ほんと？

引っ張られることも考えて言ってる？

そりゃついてこなかったら引っ張るわよ♥

ぐいいいいって♥

首輪をつけるってそういうことでしょ♥

行動の自由を私に捧げるだけじゃない♥

私が自由がそのまま貴方への束縛になる♥

より純粋に私のものになれる♥

そういうことよ♥

はいできあがり♥

よく似合ってるわよ♥

ワンちゃん♥

ちょっと舌出してごらんなさい♥

はっ♥はっ♥はっ♥って息切らしたワンちゃんみたいに♥

や・り・な・さ・い♥

ぷっwくふふふふw

よく似合ってるわよwww

そのまま行くわよwww

ほら何突っ立ってるの？

今の貴方に手足の区別はないはずよ？

全部足♥

足なら全部地面について四つん這いにならなきゃダメよね？

よ・つ・ん・ば・い♥

(へなへなとよつんばいになる主人公それを満足げに眺める霧)

よろしい♥

(体をくるっと反転させリードをくいと軽く引っ張りながら教室を出ようとする霧)

さあついてらっしゃい♥

(おずおずと霧についていく主人公)

ふっふーん♥

ほらいっちに♥いっちに♥

前足♥後ろ足♥前足♥後ろ足♥

うんうん♥じょうず♥じょうず♥

生徒会長らしい模範的な姿立派よ♥

さてここから一歩出たら廊下♥外の世界♥

いつどこで誰に出くわしてもおかしくない♥

クラスメイトかもしれないし、知らない後輩かもそれとも貴方を信頼してる先生かもしれないわね♥

っとまあ♥

期待してるかもしれないけど今日休日だから滅多なことじゃ人に会わないんだけどね♥

この状況見つかったら私の方が責任に問われるもの♥

いやよめんどくさい♥

じゃあ行くわよぼち♥せーの♥

あーあ♥出ちゃった♥

もう逃げられない♥言い訳できない♥

全裸で学校うろついた事実は変わらない♥

前からは顔が見えて

横からはおちんちん

後ろからはお尻の穴

どこ見られても恥だらけ♥

恥ずかしいわね〜♥

ほら歩きなさい♥

大丈夫♥

人はいないわ♥

立ち止まる分見つかるリスクが高くなるわよ♥

(リードを引っ張る霧)

そう♥

貴方にできることは私についてくることそれだけ♥

終わらせたかったらさっさと私を満足させることね♥

(歩き始める一人と一匹 人気のない空間に彼女の高らかな靴音と首輪の金具の音が響くのみである。)

ふふ♥ねえ？

何気ない廊下だけど見える景色が全然違うと思わない？

普段だったら

他愛ない立ち話をし合う同級生。

次の授業のために移動する生徒。

授業の疑問点を投げかけそれに答える生徒と先生。

そんな真面目に学校生活を謳歌している生徒たちで溢れかえっているのに

今は一人に犬一匹♥

しかもその犬は生徒会長さん♥

規範となることを望まれてる人が率先して規則を破ってく♥

バレたらただじゃすまないわね♥

校則違反に♥

公序良俗違反♥

ふうきぶんらん

風紀紊乱な

不純異性交遊♥

ひいては露出は公然わいせつ罪♥

私たちの行為が迷惑で不適切なものとそういつている♥

見た人が迷惑はよく分かるわ♥

私だって白昼堂々突然貴方の裸見せられたら多少は気分を害するもの♥

多少よ♥

だからこうして時間帯を選んだ

(自分に言い聞かせるように主人公に一言一言噛み砕くように語る霧)

でも不適切って何かしらね？

私たちの関係をなぜ周りが判断するのかしら？

所詮それは社会が社会としてまとまりよくするための判断基準の常識。

社会が社会のために作った常識。

私たちの健全な将来のためという名目で健全な秩序を維持するのが本義♥

だとしたらそんなものが私と貴方の間には通用すると思う？

貴方と私の間の常識とは違うわよね♥

彼らが社会に属して社会のルールを守るように

貴方は私に属して私のルールを守るの♥

貴方に命じる私の命令が貴方の常識♥

何も間違っていない恥じる必要もない♥

だって霧様の命令だから♥

そうでしょ？

私の言うことならなんでも聞ける♥

そうでしょ♥

だから今貴方の常識を試してあげる♥

(霧、歩みを止め、しゃがみ込み主人公の耳元へ囁く)

ここで鳴いてごらんなさい♥

ワン！って犬らしく♥

犬でしょ？ 貴方♥

私の♥

ほら！鳴きなさい！

もっと！

聞こえるように♥

私への忠誠を鳴き声で示しなさい♥

鳴け！

うーん♥えらい♥よしよし♥

よくできたわねー♥

お手♥

おかわり♥

ちんちん♥

うーん♥よしよし♥よくできましたー♥

さすが私のワンちゃん♥

ちんちんぴくぴくさせてちんちんしてるのすごい無様よ♥

でも私の命令で無様さらしてくれる貴方が私は大好き♥

私だけがそんな貴方を愛してあげられる♥

ちんちんもう少ししたら触らせてあげるからまだ我慢してね♥

ワンちゃん♥

(主人公を撫で終わると立ち上がり教室のクラスが書かれた札に目をやる霧)

確かこの教室の隣がそうよね♥

未希のクラス♥

私の一番を奪おうとした罪は重いわよ♥

くす♥

さぁ入りましょう♥

(教室内に入っていく霧)

私の記憶に間違いなければ窓際の後ろの席一番昼寝とサボりに適したあそこがわがままお姫様の席

うん♥当たり♥

じゃあここで遊ぶわよ♥ワンちゃん♥

(未希の椅子に我が物顔で座る霧)

ふう♥

足元までいらっしやい♥

(近寄る主人公の顎を撫でる霧)

くすっ♥

そろそろシコリたいかしら？

10日ぶりに♥

私の目がなければ今すぐにでもしこりたおしたいわよね♥

でもダメ♥

まだしこらせない♥

少し訓練してあげる♥

もっと性的興奮を煽られながらも私に意識を向け続けるそんな訓練♥

お座り♥

からのお手♥



おかわり♥

それで

ちんちん♥

うーんよしよしよし♥

まゝさっきもやったしここまでは序の口よね♥

でもいつまでこの忠誠が続くのかしら？

さてお姫様の机拝見させて頂こうかしら？

(声から喜びを隠し切れない様子の霧は未希の机を物色し始める)

いいのがあるといいわね♥

ってあら♥

お姫様ったらものぐさね♥

こんなの置いてっちゃダメじゃない♥

そう思わない？

(未希の机の横にかかっている袋を持ち上げ中を漁る霧)

よいっしょっと♥

これ♥体操着に靴下♥

もちろん使用済み♥

あの子ったらほんと身の回りのことはいい加減で人任せ♥

だらしないったらありやしない♥

でもそのずばらさ有難く使わせていただくわね♥未希様♥

ってことで今からワンちゃんにはこの未希の匂いがいっぱい染みついた体操着の誘惑に耐えてもらうわね♥

これを貴方のお顔や体にこすりつけてあげる♥

でも貴方は待て♥しこっちゃダメ♥

未希の誘惑や性欲より私の待てを優先させるの♥

できるわよね？

ワンちゃん♥

じゃまずは体操着の上から♥

未希ちゃんのやわらか汗だく体操着がワンちゃんのお顔にダイブ♥

ごしごし♥ごしごし♥くんくん♥

いい匂いするわね♥

シトラス系の匂い♥

未希いつもこの制汗剤使ってる♥

あの飽き性がいつもこれ使ってるんだからよっぽど気に入ってるのね♥

私はだいっきらい♥

あの子が私の一番に手をつけると決まってこの匂いがする♥

そしていつの間にか私の手から離れて消えていく♥

後に残るはこの匂いだけ♥

だから嫌い♥不愉快だったの♥

でも今は少しだけ好きになれる♥

貴方のおかげよ♥

貴方が私を選んでくれたから♥

だから信じてるわよ♥

貴方がこの程度耐えられるってこと♥

だから命令するわ♥

思う存分嗅いであげなさい♥未希ちゃんの体操着♥

ほら♥ごしごし♥ごしごし♥くんくん♥

性格はあれだけど美少女の使用済みよ♥

こんな時じゃないと直で嗅げないわよ♥

すーはー♥すーはー♥

くんくん♥

制汗剤じゃない匂いが混じってるわね♥

きっと未希の汗ね♥

確か今未希のクラスの体育はソフトボールだったかしら？

未希ちゃんが大きなバット握って大きいおっぱいたゆんたゆん揺らしながらスイングしたり

未希ちゃんがおっきなお尻突き出して中腰になって守備についたり

元気に走り回って額についた汗をぬぐったかもしれない体操着♥

ってあの子が真面目に体育受けるとは思えないからこの話はなしね♥

どうせその辺の日陰で適当にだらけてサボってついた汗ね♥

はーい♥ごーし♥ごーし♥

動いちゃダメよ♥ワンちゃん♥

ここ嗅いでごらんなさい♥

腋の部分♥汗の匂いが特に強い♥

しかもおまけに未希のメスの匂いがする♥

あまーいあまーい女の子の香り♥

男を誑かしてダメにするいけない匂い♥

今の貴方は未希のカラダに顔を埋めてるのと何ら変わらない♥

頭くらくらしちゃうわね♥

未希ちゃんに誘惑されてた記憶が呼び起こされちゃうわね♥

未希におっぱいおしつけられたりパンツ見せてもらったりお手でシコシコしてもらったり♥

未希ちゃんイジワルされちゃって負けちゃうわね♥

そして未希ちゃんのことがまたしゅきになっちゃうわね♥

ほらしゃぶりなさい♥未希の体操着♥

私が許可するわ♥

めちゃくちゃにしてあげなさい♥

はい♥ちゅー♥ちゅー♥

未希ちゃんの出汁をちゅー♥ちゅー♥

おいしい？未希ちゃんから出た汗♥

そう♥それはよかった♥

あーいい気味♥みきちんごめんねー♥

みきちんの匂いとちょっと女の子が嗅がれたくない匂いが混じった体操着**私の**ワンちゃんが食べちゃって♥

ご主人様の私が謝るからー♥許してね☆

ちょーっとよだれでべたついてるかもしれないけどよかったら使ってくれると霧ちゃん嬉しいなー♥

はあい♥ワンちゃんちゅー♥ちゅー♥は一旦ストップ♥

一旦離してくれるかしら？

くすっ♥そんな残念そうな顔しないの♥

今度はこっちで遊びなさい♥

体操着の下♥

未希ちゃんの下半身と密着してた布♥

ほしい？

みきちんの下半身くんくんペロペロしたいわよね？

はあい♥

(体操着を右に左にひらひらさせる。)

右ー♥左ー♥お手♥おかわり♥

じゃあ♥

お手上げ♥

うーん♥よしよし♥かわいい♥かわいい♥上出来よ♥

じゃあいかわよ♥あーん♥

ごーし♥ごーし♥ごーし♥ごーし♥

こちら辺ね♥布が厚くなってる部分♥

そこが未希の股間♥

未希のパンツそして未希のおまんこの汗を吸ってるとこ♥

好きなだけ吸っていいわよ♥

むしろぐちゃぐちゃにしてくれた方が私も嬉しいし未希も悦んでくれるはずだわ♥

未希ちゃんのおまんこの味おいしい？

わんちゃん？

良かったわね♥

多分あの子誰にもそこ舐めさせたことないわよ♥

だってあの子異性に対しては好きな人にしかそこ見せる気ないですもの♥

彼女自身が好きなのは彼女だし

彼女の僕は所詮僕絶対にそんなことさせない♥

そう考えるとあの子なんだか憐れで愛おしく思わない？

あんなに何でもできて自由にふるまってるように見えて自分という檻に囚われてる♥

そうでしょ？

可哀そうよね♥

だったらくくん♥ぺろぺろ♥未希ちゃんの未使用おまんこ慰めてさしあげなさい♥

きっと未希ちゃんもナメナメされてること知ったらおまんこきゅんきゅんさせちゃうわよ♥

はい♥お次は体操着裏返し♥

未希ちゃんのお汁をもっと直接ナメナメちゅぱちゅぱ味わってあげなさい♥

おまんこの部分はもちろんお尻の部分もちゃんと舐めてあげないと未希ちゃんに失礼よ♥

はい♥ちゅぱ♥ちゅぱ♥ぺろ♥ぺろ♥

丁寧に舐めてあげなさい♥

くすっwくふふふwあははははw

はぁーすつきりする♥

ありがと♥貴方のおかげよ♥

貴方が私を選んでくれたから私は未希に仕返しができる♥

でもね♥

それは些細なこと♥

ほんとに感謝したいのは

私を一番に選んでくれたことそのことに私は感謝するわ♥

好き♥大好き♥貴方のことが一番好き♥愛してる♥

(左耳にキス)ちゅっ♥

さてそんな大好きで愛しい貴方にご褒美♥

よく我慢できたわね♥

私のじゃない体操着舐めさせられて葛藤したかもしれないわね♥

ってそんなことなさそうね♥

貴方のおちんちんびんびんじゃない♥

それはそれでちょっと妬いちゃうわね♥

まあいいわ♥

お待ちかねのシコシコさせてあげる♥

それじゃこれ未希の体操着♥

これ手に持ってお座り♥

ふふ♥いい子♥

もうちょいよ♥まだ待て♥

そのおちんちんに未希の体操着をかぶせなさい♥

でもまだシコっちゃダメ♥

そのまま手離して♥

ダメよ♥

待て♥

まだ待て♥

ふふ体操着がびくびく動いてる♥

かわいい♥

(ちんちんに対して優しく息を吹きかける)

ふ————♥

びくびくしちゃうわね♥

早く触りたいわね♥

ふふ♥

だえめ♥

まだ待て♥

待て♥

まって♪

私のために♥

耐えて♥

頑張れ♥

頑張れ♥

あと少し♥

おててちんちんに近づけて♥

ダメ触らない♥

今から貴方の好きなように♥

シコシコ♥

シコシコ♥

ピュピュするまで止まっちゃダメ♥

いい？

分かった？

いくわよ♥

(拍手一回)

いけ♥

しこり倒しなさい♥

ワンちゃん♥

ん♥はあ...♥すっごい気持ちよさそう♥

(支配欲が満たされ恍惚とした表情を浮かべた霧はおもむろに自身の下着の中へ手を入れ敏感な箇所を刺激し始める)

んっ...♥はあ...♥気持ちいい？ワンちゃん？

そう♥よかったわね♥私も今すっごい...♥はあ♥気持ちいいの♥んっ...♥んんっ...♥

んっ...♥んで...♥誰のおかげかしら？

誰のおかげで気持ちよくシコシコできるのかしら♥

私の目を見て答えて♥

(霧様と即座に答える主人公。その答えを待っていた霧は一段と艶めいた嬌声を上げ自分が主人公の一番であるという実感と愉悦に浸りながら自慰行為に没頭していく)

ああん♥♥私♥んっ...♥そう♥私っ♥私っ♥私のおかげよね♥

貴方は私のもの♥私が貴方の一番♥んっ...♥ふう♥はあん♥んっ♥んんっ♥

そう♥その顔♥その顔もっと見せて♥ああ♥さいっこう♥

私だけのおかず♥んふっ♥んっ♥んんっ♥

貴方のオカズっ♥んっ♥は未希の体操着オナホールっ♥

はあ♥んっ♥んんっ♥はあう♥ああ♥あっ♥(軽くイク)

んっ♥ふう...♥未希の私物をシコシコ♥んっ♥ふう♥汚すの気持ちいい？はあはあ...♥

(軽く絶頂し少し正気に戻る霧)

でもオカズが未希じゃ不満よね♥

私もオカズをあ・げ・る♥

顔を床につけなさい♥

早く♥そう♥

(上履きを脱ぎ始める霧)

気分いいから♥踏んであげるわ♥貴方の頭♥私の足で♥貴方の大好きな黒タイツで♥

はい♥ぎゅううううううう♥

(踏まれる主人公を見て再び気分が高揚してくる霧)

はいぐりぐり♥んっ♥気持ちいい？

んっ♡ふう♡そう♡気持ちいいの？

そう♡くすっ♡じゃもっとなみ♡ふみ♡んんっ♡ふみ♡ふみ♡

足でなでなで♡これも気持ちいいの？

くすっ♡そうなの♡ほんといい子♡貴方は私だけのもの♡

どこにもいかせない♡

くっ...♡私の足元に...ふう♡ずっというの♡そうでしょ？

んっ...♡ふう...♡よしよし♡

(足を頭から離す)

ワンちゃん♡顔を上げなさい♡んっ♡ふう♡

手を出して♡片手でいいわよ♡

(よだれを溜めてよだれをたらす)

じゅるるううう♡うえあーん♡じゅるっ♡

んっ♡私の涎♡好きに使っていいわよ♡

ちんちん擦りつけても♡

そのまま飲んでも♡

顔に塗りたくっても♡

好きになさい♡

しないと思うけど捨てたりしないでね♡

傷ついちゃうわよ♡

くすっ♡ふふ♡大事に使ってくれてる♡嬉しい♡

ねえ？幸せ？私は幸せ♡

私の涎でも♡

んっ♡私の脚でもっ♡んふ...♡悦んでくれる♡

私の全てを受け入れてくれる♡

そんな貴方がいて幸せ♡

離れないで♡いつまでも♡んふっ♡いつまでも♡んっ♡んっ♡

傍にっ♡んんっ♡はあ...♡居てっ♡はあう♡

私の足にきてっ♡

すりすり♡んっ♡すりすり♡んんっ♡

もっと傍に♡

そう♡それ♡んふっ♡足の匂いっ♡はあ♡嗅いでっ♡んっ♡いいわよ♡

未希より私の方がずっとなみ♡ずっとなみ♡んっ♡ずーっとなみ♡んっ♡ふう♡いいわよね♡

もっとなみ♡私のお♡私の足に♡黒タイツに♡

くーん♡くーん♡って

んっー♡はぁあっんっ♡んっ♡ふう♡あっ♡はぁっ♡

もっと...♡ん...♡もっとお♡私だけのことをお♡好きになってえ♡あっ♡あ♡あっん♡

んっ♡あはっ♡未希の体操着っ♡すっごい♡

シミっ♡できてるっ♡んっ♡

ワンちゃんのカウパー♡

んっ♡いっぱいいついちゃってるっ♡

あっ♡あっ♡いつ♡んっ♡いいっ♡

んっ♡未希汚しちゃったっ...♡んあっ♡うっ♡あっ♡あぁん♡んあっ♡ふう♡ふっ♡

二人で汚しちゃったっ♡んっ♡んっ♡ふっ♡てへっ♡

まぁ♡あっ♡未希だしっ♡いいわよね♡

私以外の女のことなんて♡っ♡はぁ♡あっ♡どうなっても♡

いく？いきそう？イッちゃいそう？

私もイキそうっ♡イケそうっ♡イクっ♡イクうう♡

一緒にいきましょ♡んっ♡カウントダウン♡うう♡んっ♡

ごっ♡おん♡くっ♡

4っ♡んんっ♡んっ♡はぁっ♡

さっ♡んっ♡さーん♡

あっダメ♡イクっ♡にっ♡

いっ♡いっ♡いっ♡いーちっ♡んっ♡

イクっ♡一緒にっ♡あっ♡おっ♡おっ♡んあっ♡

ぜろっ♡ぜろっ♡ぜろおおん♡んっ♡おっ♡おん♡

(両者絶頂 大きくよじらせる霧)

(快樂と消耗から特に息を荒くしながら甘い声になる霧)

んっ♡くっ♡ふっ♡イッてるっ♡あっ...はっ♡はぁ♡はぁ♡

あっ♡あははは♡イッてる貴方もイッてる♡んっ♡んん♡

みきちんの体操着にびゅー♡ふう♡びゅー♡ふう♡びゅううう♡

気持ちいいわねー♡さいっ♡こうね♡んっ♡

はぁ...♡もっと汚しなさい♡

(徐々に元の調子に戻る霧)

みきちんに無責任中だしびゅー♡びゅー♡

妊娠させてもらない♡

みきちんが泣いてもらない♡

だって気持ちいいから♡

私の言う通りだから♡



どうせ体操着だから♥

ほーら♥更に汚してあげなさい♥

おしっこ出したかったら出しなさい♥

ここで♥ワンちゃんでしょ♥私の♥

ほら♥出しなさい♥

みきちんの体操着におしっこおもらし♥

くすつwwwあっはははははwww

出てるwww出てるーwww

じょぼじょぼ♥シミが大きくなってるwww

すごーいwww

みきちんの体操着マーキングされちゃってるーwww

あーあwwwもうこの体操着使い物にならないんじゃないかしら？

(主人公の股間にある体操服をめくる)

うわぁw見た目もひどい上...

すんすん♥

あはっw匂いもひどい♥

みきちんのいい匂いが台無し♥

このワンちゃんの色んな汁が混じった特製体操着

みきちん、着てくれないかしら？

反応見てみたいわー♥

ねえ？私が勝ったんだから今までの分含めてそれくらいしてもいいと思わない？

...ってくすっ♥

すっかり惚けちゃって♥

そんなに気持ちよかった？

私も♥

すっごい気持ちよかった♥

じゃあそろそろ戻りましょ？

雑用放りっぱなしだったわね♥

ん？それ？ふふ♥もちろん♪ちゃんと返してあげるわよ♪

置き手紙付きで♪

(机に向かい手紙を書き始める霧)

なんて書こうかしら？

うーん...

みきちんの体操着私のワンちゃんがちょっと汚しちゃった♪

ごめんね♥

でもこれは仕方ないわよね♥

みきちん私に負けちゃったものね♥

でもそんな私に劣る未希ちゃんの体操服でも私のワンちゃんのオナティッシュくらいには使えたので

またおきっぱなしにしておいてください♥

きりちゃんより♪

こんなものかしら？

ふふ♥ああ楽しみ♥どんな顔するのかしら♥

んじゃ体操着ちょうだい♥

ちゃんとたたんで入れてあげましょ♥

下お願い♪

(体操着たたんで仕舞う霧)

手紙もしまって...はい♪

じゃあ帰りましょ♥

生徒会室♪

(立ち上がる霧と主人公)

ってこーら♥

誰が歩いていいって言ったのかしら？

四・足・歩・行♥

帰るまでがお散歩よ♪

ちゃんと私についてくるのよ♥

ずっと♥ずーっと♥

ねっ♥ワンちゃん♥